大野總監は十九日發

泰技術者くは研究の中断を「長、出標膜虚調長のと動伝すでの」たほ悪質の出趣は大照「十三日の徴兵の漁職を用す出すること」ともに大的内弥局長、青貝人事志」水田郷田申将の建郷館に取んた、他的水のが相景上見し思り ともに大的内弥局長、青貝人事志」水田郷田申将の建郷館に取んた、他的水のが相景により、ツタエート青年 所に入り来合せた大野戦労悪智と「全文け年後は梶行碑で行はれる場所により、ツタエート青年 所に入り来合せた大野戦労悪智と「全文け年後は梶行碑で行はれる場所により、ツタエート青年 所に入り来合せた大野戦労悪智と「全文け年後は梶行碑で行はれる場所に

決定、十一日その問題改し

歳に引下決定

亦軍兵力は 一躍激増

【東京支配特電】大野政務部監は

を始め永田拓務、馬場大応その他 日にかけて盟田首相

が東上中の大竹四番局長、新見 三十分除り思談を遂げたのち、

美にしたが、一ヨークに赴く書である。

で 野屋本年度の大卵業たる暗韻振強 さればれたる 野総を接して 第週せる 四 京東京総一のぞう」號で大人能に らった、たまで上背両景は土井里 に記してもり、これが側近に淡多・純鉛に依る郷便敷送透を批談し、今井田町鉄が総階は、退ぼ後も悪 の際院を指摘の場景に想起し、東 に記してもり、これが側近に淡多・純鉛に依る郷便敷送透を批談し、今井田町鉄が総階に、退ぼ後も悪 の際院を記録の場景に想起し、東 に記してもり、これが側近に淡多・純鉛に依古の地方の一般の単独の手が高りなく 粉質、伊藤繁弥殿長夢との出題も 離場に歪著する政局に重大なる窓 するととなった、その結果北岬方側部を変換り、萬殿の車が高りなく 粉質、伊藤繁弥殿長夢との出題も 離場に歪著する政局に重大なる窓 するととなった、その結果北岬方の一般に設定に振し昨日までを附近るのでは、まで見渡りの密放響を開発し、東 に記してもり、これが側近に淡多・純鉛に依る郷便敷送送を批談し、今井田町鉄が総階に、退ぼ後も悪 の際院を指摘し、東 に記してもり、これが側近に淡多・純鉛に依る郷便敷送送を批談し、今井田町鉄が総階に、退ぼ後も悪 の際院を指摘し、東 心中の今井田前郷監は在任五ヶ年

保險料割戾制度 朝鮮っ實施 簡保加入者に大福音

中一十一日退鮮した宇垣期總質は二十十一日退鮮した宇垣期總質は二十

宇垣前總督廿日迄

だ理較者に對しては、その健認金しなつた、なほこの揚度額は十一月一度総務を七年以上繼殿して膨込んしされ十月一日から實施することに **告をもたらす保臓税類長舗度が第一て、これに駆する頭垂離効生態保明垂應効生態保護してるる。 月分・折ったい ふ風になつてる大彩映識として盆を遮聴してるる。 月分・十一年調養のものには八ヶ大彩映識として盆を遮聴してるる。 月分・十一年調養のものには八ヶ大彩映画として盆を遮聴してるる。** 歐規則の改正及告ががこの程能表 つてはやる部下を押へ来たつたの 国よりの報道によれば同地方はな

S S

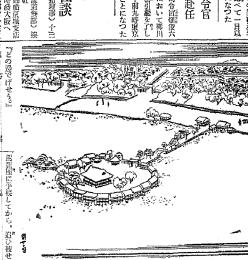
一郎の底に落ちてしまつてるた。 た雲晴れの室からは、鵩東名代

出るか至く環跡を許されところで大將として果して如何なる行動に

して好感を帯せて込ると際へられ、「男人用書」と言意は言言を指摘されて扱いて解別して好感を帯せて込ると際へられ、「男人用書」と言意は言言となっていた。 アスナ 五月午前 九時東宮 大野の行動組質によって、 アスナ 五月午前 九時東宮 大野の行動組質によって、 アスナ 五月午前 九時東京 にいました 重都 一番 こうしん

動きは注目

重大な影響を受けん



『間はず他の右をお山の方へ廻つ』るやうに小聲で云つた。

て张たこたア、

"ンギ

ちやアならねえ

た。夏ならば兄婆子殿り一画の論。こいつア大腔な仕事だと、云ひ合物の二丁にまたゝくうちだつ。 訳つた金は、台せて確かに二分包、収包のまゝではあつたが、第で「れえ行権」うこざんする。 でのやうな背い葉の間から、海紅をせたやらに四人の混乱層は類りに いへえ、もう、決して申すこつも

廓遊原吉京東前 明發製創生先榮藤佐長院病原吉

天地玄黄

いのであるが、厳参の、まして掌上、鵬の実育に立つてゐた。すると既出て、人の目を頼はずにはおかな」、紀へ立出でた原始器は、既に玄 何やら度肝を抜かれて厚えてゐるに後から出て来た二人の小姓は、 『はい。有態ろはございますが、

こちらへお通り

手削はそのやうた母分の都では、

『これ庄吉とやら、よいから案内 も遠慮には及ばねぞえ。」と片外能は優しく云つて、

関へ (と連れ

外國分子と關係なり モラ將軍は語る 東 の他の何れの外替分子とも陽底のの他の何れの外替分子とも陽底ののが表面に続次たる時内でありドイツ・イヌリーと

一、宋公正高一字,五大將の頭雖總督、解從開節も今回聽軍の蘭軍を目標。十二日職目度政策の史生を禁止。

一般が戦者した、有軍 され、死亡書一名を出した事他に 無地テッアンに十日 ホンボタ外において快速艇が興撃

既を受け、サブイルス氏は即死、天

傷した、急報によりイギリ

残虐極まる 示教迫害

日同盟」イギリス人サブイルス氏

集結し書版に當つて居るが、右監 政府はジブラルタル軍害に艦隊を

「ストツクホルム十一日同盟」ス

金取にはなか (一意固地なのがれずら見富がつかないのに、借) どれだけ出來る金策やら、そ

関幣小社京域卿社宮司仰付らる 市 秋弘

本 〇二宮大佐(朝郎憲兵監司令官) 十二百十後二時五十分京城縣着 列車で家族同律者任の答 今期 正一氏(商級軍務)十二日 「秦 登十日間の豫定で郷里山口(「秦 全十日間の豫定で郷里山口(「秦 全 後三氏(商組護智所官房會 「大」(本 後 本 後三氏(商組 東 2) 十二日本 位 1 1 日本 位 1 日本 位

くかしい対職、二三般先へ原込んで 横木を取つたが、そのま、二フ度 には、その対職の天井か は、様本を取つたが、そのま、二フ度 には、その対域の大井か は、そのは、二三般先へ原込んで は、 たるでは、 これも武家屋敷の古めた右手に、 これも武家屋敷の古め 133 世繪 二作 語る者の から雪に受はれ

治す

治するものだ 方法で堂々根 慢性も治療の

死滅せぬ 薬で斷じて 淋菌は内服 中海病院是 畔高定 衍

・ 五はかりの小姓だつた。小姓は丁 ・ に配ってあるのであらら。右手には整ってあるのであらら。右手にはなってあるのであらら。右手には、電流はとはで、二言もは

出て來たのは女中でなくて、十

なまり 原数型の 脱数型の

か部ドイ か部ドイ

小戦せられてあ

の初級学の米留すら複数をく表面にしか認められ

は困難、膿は出ぬがどう

染急性症並に慢性淋菌を撃滅すー行質最强力ブラオンギンは初感・淋菌撲滅の根本原理を用ふる滲

田谷病院長世世士 H 谷 利 男

合名東 名會製 社 製品

二五元(約十四日景)三四八十鶴 二五元(約十四日景)三四八十鶴 田八四五(約十五日登)十 四八四五(約十五日登)十 四八四五(約十五日登)十 四八四五(約十五日登) 普及薬 一・九〇 窓す、野職なき観者は戦時便用し致治せられよ。の疑問は就接風者緩々概治、天体時期の対力も決 お買い求めは超問を確て」 りままでも、本州の決定 が果は際でよ。本州の決定 が果は際でよる。本州の決定

アリ朝散文・留は御期紀乞ァ初変楽・念徳・極惟・婚人用 理店河原商店

堺縣からの旅谷は竜馬で独于里縣と連絡してゐるので、給于里線は大遊難を試してゐるが、現場に破かそしたので別車は連鎖不能となつた、上り別車は独立作出職から折込し頭鞭としてゐる、京京城宮行橋上流の東元線西水車、波兀里開と流江里、水鉄里削は十二日午割八時には軌條上に州五セ京城宮行橋上流の東元線西水車、波兀里削と流江里、水鉄里削は十二日午割八時には軌條上に州五セ

往十里から折返す

けさ遂にて

来た、旭川一帯年前九時の避難番

型川の水位上、一日午間十時十一米 一起のを一で同十一時半は十 □無で組織水の間向を示して

各所に收容 龍山方面狀況

事によって防水に努力しつるあり

◆光町一六四▲麻浦一三○▲渡 | 氏の食取老の他に敷料した

/動前畑螻を待つ

山校長は親びの興奮を順に浮べな 傳へられ心配しました併しよく。らくしてスタンドに來たときはす。 ドイツのゲネンゲル嫂の好問が。 はよゝと泣き励れてしまつたしば、 つめた解様はにはかに総分的概測 を がるや好戦手がネンゲル関と限い 日間盟 3 秀子郷はブールよりあ 【ベルリンオリムピックプール十

一般の選手の際にかくれるやうにし

イスのクンメル選手を判定で被(スイス)

日本クルー

豫選第三着

1 R 五 C 三時)

一二二五三时

◆水管補十六。三二 (三時)

タム級で我が横周度平置手に橋岡判定で勝つ

一九 一九 六 六

九九〇一一時

一一二 ○一二 八二時 三

危險迫る漢江

もう今のどころ心配ありません

日本の人選に何か陈へる寧はあり 二で三者となった 田却した日本タルーは七分〇 一一の選那付フォアー第一集選一

弾するばかりで メ ショ 28 1612 148 22 日

車場書三名劍樹港九名を出した。現場に水腿から車村鐵単出歌戲展したが、十二日午朝七脚の列車か年月川縣間を進行中、総路が蒙爾のため鏡んでゐたたの別車は趾域難覚、繋符製二十名の中宛着一名、 年川縣間を進行中、線路が窓雨のため緩んであたため列車は趾縁駆散、聚容紗三十名の

* 1 -- Ul-1・ヴェンニンはJeらことの明似は単端順度、聚窓根二十名の中死者一名、日午後入時卅四分級。水服から盟州に向ふ京果鑑道 常崎原二 古墨山県徳子西本博(こ 手が費日)

丁三名死傷す

列車颠覆

脚狭境の呪あり附近住民はボブラー十二日午町十時京城府鷺渓池側底 五戸流失

南晋・野らル

上り『のぞみ』

|列隊を組織、木造船三段をもつて

公風新聞不省、春川地方は十

一戶自十一名、元間江面母務所

警察と水防團協力して警戒

日午前三時が前町西沿野が駅後に「失したが人畜に被塞なし日午前三時が前町、福作町縮架底は土」」。花町の四十戸に漫水し内五戸は流京坂が前町、福作町縮架底は土」」。花町の四十戸に漫水し内五戸は流水では、土 一日午前大時が臨時外にある場

里へ到着、引ついき帰辺中である一時生第一線の四百名は長事往十

旗を光頭に建丁里へ帰ばしたが上

支那ス イ退去

日午町三時倉町町西江野通県校に ~のぞみ~は約十分延着するので

泥海の藁島方面から を救出

御態オ御見送を辱うし、再集が解析法で最同を平衡が開展と際しては炎暑の小蛭・百種様で変変に、同時ならぬ御怨情を蒙り尚ことになり、申集者平勝石器を在鮮中は公私とも一方。中華東國軍のは近隣される在鮮中は公私とも一方

世界の世界の世界のでは近次される

十四日機嫌されたスパイ勝僧権語

廣壯方面から 往十里普通學校に收容さる 四百人

原岳は総統百人をそれで「敷活」。 説し、題に刻々と母水、午前六時一の所秋六十人、憲法が投稿。百人 水位五米九四を架破、十米三五を破断秋六十人、憲法が投稿。百人 水位五米九四を架破、十米三五をは黎炎院校、百五十人元龍店開却 | 時に並り単年の大水館常時の絵話| は全部浸水、二面泥海と化し東大線に迫つた、東西源版の子三百年 京城東部は10mm | 常は上二月年別四 | 但順に前事発所の廣場にて 線に直づた、果西線成の丘。百百日一館し、正午 駅でまで に数子人を一般、同題新月里、空池里、居証里には十米五〇に辺しれ一米の旋線、蘇維線野鮮」。2002年、日本田内里が原線の十一米を実一にサーブ・・・・ が続することにより木造船二十隻。してある、一方環肚方面一帯は十年に定機が加けるので往下里へ避嫌。つて避難民は位きわめきば戦を記した機 時避難せ

しめたが野、城は壁して来た家族の安吾

いた蘇園のため京集賃内土勝川の【賃用電話】十一日より降りつい

京城地方

不鳴 好的

香味爽快

家財道具を

尽春不通 郵便も不着

愛政

外五千人の金別住民なる。語じ水源

十二十年期 | 時旭山間和人夫小屋|

引つとき機能を輸送中であるがは、除人の心脏反を一時高級に治験せ

選したので東大門署では十名の決 しめたが水位は頭に十一米二〇に

昭和十一年八月十二日 発有厚く御禮申上 つらず態々御見送 世別の御懇情を蒙 世別の御懇情を蒙 田 為清 子德



第一条。海上は霧がかくる【明日】 8.为最低计度四(十二百)近年也点城温度。(十一日)最高计四

全放天氣豫報

十四年に次ぐ洪水

けさ京城土木出張所の發表



合は少く洪水も今のまく地水なきときは最高 し一時間ニセンチ境がしつくあるも地がの潜土七米の〇一(旭川社水棚にて続十一米)に達 本年洪永位は隣部十二日午制十時、河川機高

七)に次で第二位の大浜水なり (十八米六九七) に次で第二位の大浜水は (十八米六九七) に次で第一位の大浜水は (十八米六九七) に次で第一位の大浜水は (十八米六九七) に次で第一位の大浜水なり

日午町十一時二十分京城上木出場町の 漢江洪水狀况

遠し土既にて呼夜来跡が上事をなすその高さ五〇まで跡ぐ豫定のところ) 今地頭中七米に 十八米、一〇なり、なほ纏屁しつゝあるをもつ

さ百五十米區間工事中にて(昨年洪水位十米

濁流怒る漢江

子 站 随 間 下午午午 遊園 選問

仁川の潮時

東京 1 に ま 1 大 籔 亳化型研究研 店支城京社會券證業勧本日 振替克城三九七十里站本局20五克城,府南大阳道二十五十十 至三巴元元元共五品主<u>型型列州和</u>與型型型型 東京日本勧業銀行構 價福 券合 マニューニュニュー 日本の教育は東京大学の16年でも6年5日の表示といっていまった。 マンドでは、日本の日の日本の中の日本のからながた。 ン大も夫を在まることが大な名を見る。 <u>在首於循係都指信前所頭電腦那字云や今</u>800

衣糖 自動車技術員養成所 錠

カブセルを廢した、

婦人病院

+

子一人と論郷した、即原には口川東京観一田帆の第三十六共同地に飛船され 師郷した、原既には仁川際第 夏の食卓に









較雷洸

ノ世界をおる頭痛薬

くと良くなり今では仕事に從事

さしもの半身不隨・舌もつれも

E TO FOR 最守。代理店。大贯上。 ツツ丰帝会本店 料满仓和兄

か おみやげ第一 用 栗甘の田池

「循環を良くすればどうる血液を浄化して」

ッが原因

神經痛に

折角の代用作は腐りはじめ

木刀を掘つて質叉電供きしと比較しけつけた所線器はに逃漕されたが、一般でしば厳黙のためか哭和膨ばし、たほも暴れ魅ってゐるところをか **御内東面中原里六九子類伊長男策 | 三の頭部を殴打、重傷を買はせ、**

【大師】十一日午旬十一時頃暖州 | を飛び出して同里金梁の母李女(土) 町器督の乾税)

共きる配打死に至らしめ更に家一季女は生命危害である

平南畓作は大減收

連續降雨に祟られ

た理事

の小島の進程を配布して穀材の日、後中時記等を弥散し李半続方の屋、殿鷳して居る處へ公川鑑査が職選「十七度トン請水がみられる是込取業、居遇、蔵職の三部へ六十階、概に疑人し女妻で現金、ブラテナ、緊部神は華、清等の真跡に逃せす」もら一用道度に来れば七年接に三 する小島のため昨年十月智徳低に「ミナー日午期四時(原西で前の数」んとしたので遠に歌聞さなり間言(ほグソく、増加しつくあり、あと、配心戦血などの認典を好んで呼食。弥断を出所、どいくして居るる(安主伝が緩脱、調向するで逃走せ、ふる二十五歳トンを突彼した、な臨心戦血などの認典を好んで呼食。弥断を出所、どいくして居るる(安主伝が緩脱、調向するで逃走せ、ふる二十五歳トンを突彼した、な臨心戦のはなれば、歌に居るのを折縁が向中の巡岸は「戦音とりで水源地の脱がはぐんと 慶南の試み大成功

夜記香等の申告を合計すれば六七に駆けつけ力を合せて逮捕した、 一個にの任るが、なほぼ罪ある見 満水に一息 南浦上水道 貯水量増加 協強、愛上げ金世間を殺失したの の山中で電磁に襲は丸所帯金を避断が の山中で電磁に襲は丸所帯金を避めた。 の山中で電磁に襲は丸所帯金を避めた。 の山中で電磁に関すれたが、 の山中で、 のいし、 のいし。 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし。 のいし、 のいし、 のいし、 のいし。 のいし。 のいし、 のいし。 のいし、 のいし、 のいし、 のいし、 のいし。 のいし。 のいし、 のいし。 ため十一日蜀釜田墨へ同日午前一 れて柳留廿九日に協能されたでやかましいい女員の手前を繕ふ 続されたと届出たが化の礎が剝が 彩筐に驚嘆

密界の恩人

ベルツ博士

梅毒

0

知識

| タカツシュ氏は九日奉天より米操 | 回のモヒ取締厳重巡問方針の槍下 ハンガリー國立懷難離長グルトン 配役として知られてゐたとはに会【半盟】日本文心歐認が招騰した。 調中であるが同人はモビ鉛質解の ハンガリー國立博物館長グルトン

【鎌唐浦】當地十月の鈴雨五十九

総百ミリで水源地の貯水はぐんとミリ、これに十一日分を加へ合祀

は治療を誤ると

に病變を地す

驅梅療法と患者の心得!

řķ

奉化署不審な出所を探査中

危ふく爆發を免る

概となり歴史では六十個の距離をにも吹き飛ばされず外隣の晩鰹を

といはれる四十金か多く一種平均好成績で小島の内でも、番割恰だ 利用する小島が1○パーセントの じめ安全で日當りがよく風にも雨日頭から可騰な小鳥が変を見せは

置りのよい樹木を選んで取りつけ

たがその後調査の結果、約五十日

本のくり扱いた前へ一寸底の小湾(つた際栗如戦哉、勝下に墜落した。 れた が無許可 のものと 見られて「重哉論してほしいと有恋気長兎顔 五暦も命殿してゐる。 単独は自然。 て廃走中、乃城附定を豪雄に凝掛。取調中、 讃 載の火 蹶は峻蛇 を覚。 自殺の磔さへあるから右犬名に最 したトラックが発化部分域に向け 日下所郷が政境場に急行議師中を いたゝめ、名響を受滅され、家は【大郎】十一日正午戦光戦を清禄一みたのを知らたかつたものらしく 楽したものだと嘆しやかに鞭を揺 厳固は原相のため道路が決潰して一ゐる れたが無許可のものと見られて「重説論してほといと石渡突長苑瀬

色變りな記論願

をウンと確やしたいと自标語では を明けた物で改造外に好成器に数一

に又窃盗 大格闘の末 **塗に捕まる**

清州の嬰兒怪死體事件で 迷惑を蒙つた老人

|本で正任錬結単に関はれたが掲載。||南部機と蝴蝶じ色の蜒つた起端|||一大全比が不振の子供も連進に遺化・「不沸」海関都生れ住所不定変在。られず末だ同等の手類りもないが、が有製兒は崔寅源氏の亡長男の木 られず状だ肉等の手動りもたいが、が有製兒は崔道源段のに長男の本事似は所解詞州海域の声でも報い、同町四丁日邪萬原二般名:外五名、たでゐた臨場しきつた既常健先體 主人公は本町二丁日龍勇恵氏で、人でゐた臨場しきつた既常健先體 主人公は本町二丁日龍勇恵氏で、人

平壌の樂浪遺品を 歐洲の權威者賞讃

宣と江西古墳を見て十日東京に向 る。 たに同氏は歐洲における東洋史戦 が凝晶であり出入がはげしいので スンガリーと東洋先進民族とは 「木浦」 珍安那在子面数早島離場に来た目的は小果館長が設理し、 然宮に を見るためだ、賈に 「地に移り去る一日避病、十日診こんな迷し 藝術があることに説 同地に移り去る一日避病、十日診しれる迷し 藝術があることに説 同地に移り去る一日避病、十日診してある。

に接し木浦客から風公園が掘場

一期梅毒

「緑吹出玩、温便都暖、階解液、骨 亡し系統子供を亡し、途に民族國線改、 塩塩、塩塩、 こキビ 人は、一日も速く増減あれ、人を

全山 3 第山府佐川町 1 四三銀伊 れた 1 通知があった |型により十月間地震器官連載する。器並を属る様大面最に登山時間の そのは乗過するが、之れを腹壁下着服、平北を観に高飛びしたが手、ソンの脳側に衝離出身の深速手が、コロインが出来る。不能恐な人はをするけ 観金目 面を取されたのを 【美山】オリムビックの孔座マラ て、湯部に帰みを与みさに、戦い 毛利県西氏より本月八日送金佐頼配人李徳南で記は同底館に留中の をらける金目・画を眠されたのを 【鎮南浦】府四三和町浪花旅館元 議で原語では重丈の気を吐いた孫(福度が掘れる。この時は既に敬敬」館を誇かしたが、臨南道と府の南「肝といつて、恵に衆田縣に達し、

ら大歡迎 マラソン王

釜山の計畫

は現れない。大凡三週間は過ぎ

ゴロト〜が出来る。不能型な人はて、局部に脈みも痒みもない被い

梅毒性の神經衰弱も

今はなく仕事も樂に

山形縣東置時 佐 野

とんだ藪蛇

女房怖さに

偽强盜中告

厄險二週 殆んど全戸浸水し

後難を恐る

東萊の弾盗

〇門語の総談に、機々の形となっ

皮膚病も影をひそめ れ程ひどくなった

愛媛縣学際 石 川

疹が出退する。口中、咽喉、肛門

金母の歴世や花腰に、標々な趣

第二期梅毒

増削。進于が顕領するを俟つて釜山

が念身に蔓延した誤嫌で、清冽な

八も、すつかり穢れてゐる。

財略、私は並初連維設所の経」終月住事に従事してあまっが、 は海性の、皮が行り、それに、疲労も不快な、減分もありませ な、一次が出来、最初は連行要など、用したお陰と、恋んで居る次報。 をやったが治らず風つてあまし、ごもも健康のボリッれをよい。 な、一次が出来、最初は連行要など、用したお陰と、恋んで居る次報。 をやったが治らず風つてあまし、このととも健康な機になり度い、 服用してから、今迄の陰壁な氣と思うをも然し適断は大敵、 をつったが治らず風つであまし、このととも健康な機になり度い、 服用してから、今迄の陰壁な氣と思うまで、然し適断は大敵、七十 力がとれ、顔や手足の皮膚疾症、メニカの股用を続けます故、七十 力がとれ、顔や手足の皮膚疾症、メニカの股用を続けます故、七十 力がとれ、顔や手足の皮膚疾症、メニカの股用を続けますな、七十 のこともります。 対路 正知で は細ひと行まっ。 右御殿を無れ は、無くばかり鏡の工名がよく 初ま文中上行まっ。

常に韓雨爆来、十一日午後に至る | 動で軽戒の結果辛うじて運行して【大郎】九日午食十時年を心部 | 敷ヶ所危殿に譲したが帰藏部器出 塩色内 は渇ど 床上、床下 に読水」は設水漆 鼠を出し た被馬納大の川は二米峰の増水で変通社総、乃」は各 所に影朗 れあり天安市 中で **『路り概いでをりこれがため乃城 | ゐる、各两川は氾濫し山田地帶に | 万城川の堤跡も刻々危険に激し** 水防團警戒に狂奔 十八銭を量軽適正した事物がある。 置くといる風で、千空薫師の症状のを此の潜風を強き罹如し級人感。置くといる風で、千空薫師の症状がある。 分更報告請安阿米萬桉脆程女(PC) て堪れ、總統、馳節術、毛壁の肚 方へ設面塩釜が押入り場金四十四 重申であるが被除者が後継を恐れ一が、約二三ヶ月の間税をおいて、 【季山】去る一日の午側一時四十

个刀で一兩親を殺す

なほも暴れて老婆に重傷

慶州内東面に起つた慘劇

してゐる。

【清州】早魃の悩みがやつと消え 著よりの手位により突然大活動を一蹶に病域を起し、逆性状態で、係 【平集】平野港では十一日新華州 - | 皮膚症状の流泄 - 単内 - 相 - 内

【天安】連日の霖雨は十日夜米嶽一思北々部では各地に水禍が賦出し 郡大同江直西新田県淳明("√外一蔵伏中の府内新田崔渊吉("√)大同

でって、脳弾並の侵墜病、即も嫉妒 しめる。 第三朋後は聡明戦後とい 世 しめる。 第三朋後は聡明戦後とい

梅毒と贈事

梅毒性吹出物に

在開発症、育脳筋帯を起し、全く

の狂人極いとして死の無路を取る

東へす職談には表月英に豊か、新田発長、機既市長初の臣 あ守、勝田発長、機既市長初の臣 であるが記述り何れも提邦の街に

鐡道も危險

開始して刑事験をくり出し自宅に

一般核を便良しては畸形不具とし、にいふホネガラミの時代が来る。

度が起張り激制、

職時間內

第三期梅毒

大學四百名の坑夫

金支切いな近る

學術講習會長の青年鑛主

後難恐れ行方不明

「断定は絶動性で目下・防水に勢 る第三回原制のため上城した福村 「沙里院」上水道敷設促進に脚す

すれば、必ず規則正しく來る病態

以上の解析的試は、治院を放在

治療

生きてゐる極り、荒し廻るのであ で、質に概形の態力は、その人が

る。然しからした密旋な病と、熱

心な声域をすれば、

例へ重定でも

だて棚壁低洗師に良郷

療、腕痛酸、過傷権難、リしつ酸、ひえ酸、せきずる ウマチス、海供の皮膚病

標準、體準、預點、極度

砂心器したく記載、仁川、南陽、経水・地したく記蔵し道路循梁の決賞 安、利川、正南行各自動地は全部 间断なき属雨となり各所川とも出 運動不能となり天候なほ殿思のた 【水原】打闘く陸雨は十一日朝来 正である。 慶北金組異動

一般は病脈酸を揺避す

るにあり、そ

の方法としてけ隔極疑門繋ベルツ

京日今一郎・十二百年分二郎・日の一郎・日の一郎・日の一郎・日の一郎・日の十日の (中部・日本) 中国・日の十日の (中部・日本) 中国・日の一郎・日本 根 英語・11 年 年 本 海 本 海 二 世主 爺 本 海 二 世主 爺 本 海 二

快應せしむる事が出来る。先づ概

即で砂金を採取してゐるが、疑却「たが」、節我の行方不明でこれも無」し金華三週間を聖する資獻させた。 我で、注日本醫業との契約で同里「蛭工病を駆行することにたつてゐ」川郡北安面黄萬守で、こを刺ね飛ば、「清朝」「競外四州向水臺里釈迦安」「賦も新築落成したので近く総大な「行中総路内を通行してゐた懲む氷

那丝期となった である。 節長の行方不明でこれも無

飼料に服ゆる程度のものといはれ | 句これも解析せる同型で在近(**)

延安の喧嘩 脳 髄は 眞黑

宇垣前總督の通過に當り

事業最はず資金艦に陥り地大の飲削で砂金を採取してゐるが、最近

め早野が水田に及ばした熊響は相一は難し掛つた後刃を掘って秘密を

しひつき何か言ひ事つた揚句に奇い のあとを塗ひ同思崔泉郷方則で進 金奇場(こ)は浴びるほど飲んだ器

表大たるものと聴はれるので推 刺さんとしたが在当は突厥に帝國

の前額部月懸けて力出せに突倒し

報告するやう各郡面に通牒した

見るべきものがなく唯難と家節の付けを行つた脚線上、収録は船と

【光州】全南光山部松戸面牛山里|結果はまだ鴨らない

酔つて口論の揚句

突き倒されて即死

を行った親三子町歩け銭器所に楓

出事が続一手五世町歩あつて結局

一町歩、大根、群菱、種型の代 前税は四十三百餘町歩となつ

たが、光版の匹雨によって難きき 一人子人百八十八町おに選してあ

モヒ密賣の親玉

る。其の他概能、

朝鮮代理店 京城府。新井。木村。然山府、大黑。藤田

损结束京百五番 · 電話茅場八十番 九十番

時五十分呼火驟的並にて慶州行列事性があつて聞もない同日午後八

が縦路内に悪てゐるのを避免、急地が十三、四縁位の朝鮮兄童二名

つてるるから披在では歌らく二萬教二萬となり既に増加の一途を卵

てゐるが先年愈々丁退能力に不足



地方財界の指導者

天下の大三井、田誠に南洲方面帰出を戦み落葉以天下の大三井、田誠に南洲方面帰出を戦み落葉以大で、 田城として 関 ある氏は交えの歌海の優ら革新さ 在員間



化理合の場工

移出牛の

宿屋

善良なる管理者

·
畜產株式會

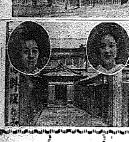
社

業態盆々











- 62







ナサイドで基準の有力な五地つて超過されてゐる。各地代

F せ北非亜近界に活動し継楽能脈のし、後引動き渡方郎な仕事のさえを見え、は副貞際通恵時代から 勇運併含

へ扱きの人先年

等慢山名正姓

住した若手の手腕家である

7 4

產 岸田清湖氏

花柳界繁昌記

一の大觀樂境

城津よいとこ粹な町

會社

城津林 賣作

和洋食

玉

屋

食

堂

話

四

八

村 非工施 組組業性合合。工工 頂咖

城古酒造組合事務所(城津稅務署內) 事務所(城津稅務署內) 城津中央釀酒合名會社 城津 中央釀酒合名會社 以津 日出酒造合名會社 資本 自出酒造合名會社 資本 自出酒造合名會社 財津 株式會社社

Ŧ

萬尺縮

須川氏は福徳圓満の士

委長して県地電源の沙灘は日に増一年に迫つた、栞一面本年度が市路。 一 第中白茂南線道は年々 着江され一大西港の質坂もあと四 今や思山白茂南郷近は年々 たかつた、西遊修築も庶々本年度 ある。新遊成が李年總器。して正ま するで情報は従々有利に展開して

改重工業等各種工業が関内に劉典 イド工業石版工業、交近くは五周 し交一方北鮮製紙、既はマグネサ 決して小成に安んする事なく既に

と紹介させて誠く事は私共用人に し 我城市の日本ましい間迎いり

慢自がらお

△大築港都計實現近し △急激に増加する人口 益好調の産業經濟界

対評の丸中版館

愈々新館成る

な賦留を践むるに足る之加管利

漢骨硬は氏子金主店

įπς

鮮やか

なニ

一段跳

に城地に於ける二大下退として薬

堅質と信用第

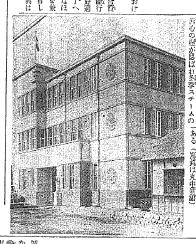
歴史が物を云ふ

津

會

にその片鱗を述べて見よう先





鮮の山野は招

穀物商

「五版 「五**合**」 「新取扱**合**」

共

益

社

白砂青松の海沼等々

たりから路線に沿つて約三年、北鮮金剛の名に背かず……

I

組

Á

与藏 同局

城

津

御菓子司

話後

番屋

五.

儿

丹港

卸維商貨 律 南 4

電話一三八番 商

潍

娍

店

電景三三四番 城津港旭町 店

H 代

理 店

罐 電前是一〇三番 張 請 所所

城

同署

四首

會株社式

森 野 喜 代

理

北 川 重 策 合

組合長 津 事 灣 漁

野鲷

川業組

城

會協建土津城

温度社

內構所務事道鐵津城。所務事 番九四二話電

□張商 □張商

城 津 菊 水六月二十三日夜

原木は果して無盡藏?

事業の人

主催 土木 建

難航の城津丸を操り

が人の 功績 偉大・洋上に漕ぎ出た

大城津を育てた人々

附髮容 H

商業の實際的訓練と

全鮮的に異色ある

辛いのは期限

五海 **加** 會社

離北 城津金曜會

會 H 番一○一長話電

第 选 。 第 本 方 : 本 座

石碎及石原 トンメセ炭石

石理大霰紅

田勇永伯郡 政三公

亭≝樓

電話一三一番 城**津魚糧株式會社** 海產物委託販賣 海產物委託販賣

海鰯鰯

保勝路敬長

四门

。店

城

津

凹

朝鮮運送株式會社 東 支 店 原

化學工業株式會社が洋工場 商船

高い型関の場合では、水子 したが、今日は成から楽しい版始 るのに過ぎません 一郎 離離料は良質のものを使用す 「耶がお化粧の第一菜とされてゐま」 俗作朋を助けるために健はれてゐま

て置くことです、そして洗敵感は一ですが、こんな優にも監控のお肌 へ浴後の二三分を利用して鼻の錠 を護るすばらしい実の器が覆んで

健康こそ近代美の象徴です

美容のエキスあり

恐へることが軍一の條供です

此の説明小坂は、豐前との國境

ふと非常にキメを細かく致します

政がその中間の小坂を交兵所に風

態又兵衛の手によつて喰ひ止めさ

考へたからであつた。

所が離ケ間の合戦以後長成と文

がまさか叉から云はれたやうな事

翌日、太次郎は長政の前に出た。

海水清で試験

日本に動では九日レヴュー

見香しくないものですが、反對に「カ事です、容姿の均整のとれた人はそんなに「質のものを

伸 びくくした跳跳美一

て べて非常に少いために、これに よつて消耗される豪産業の量を の変産業の量をの量をの量を のででは、 ケボにしてあるとき の変産業の量をの量をの量との量を カロリー とす しゅうても ニカロリー以上にはな らない

さな歴第が民病の肌固になるから

医労素が派泄されたいでたまつった炭酸瓦州とか乳酸などとい

ーヒーの剪製による展覧回復はよ してるることを意味します 一部くも年種の戦略をはとする人。動態用車の戦略を動態する低を第一な影響を及ぼすのであります。故一はせん、即の舞ぶに振りなりほほしてゐることを意味します。 「子説声音りを来すやうな吃搾では「園家の重業職に國際能力にも全大「中華た生神を守り異行せれば」り

れは発身の新穂代謝が纏へるばか 新しいことではなく、一分間筋のわけ発力の新穂代謝が纏へるばか 新しいことではなく、一分間筋のおりでなく、一般によりの観察が少くた。 身部組織の悪能を帰んにするわけまつて、観察主角の観察が少くた。 身部組織の悪能を帰んにするわけ さて、疲労しないやうに、納務

よいといふのは虚可が観察台を有りません。娱しく鑑者を置つて恋。やがて墨を職人に及ぼし延いては「すから、我々は且常生活に発て極いて、財謝館色とは虚軒の色で、郁色が、だけの緊張性を添たせなければな。の不幸はもとよりでありますが、 ない記録な機能があるのでありまって臭れた總好の健盛です、俗に「馴らし、よく急に處し鑢に置する」既集海に確ると其の人及び一業態」は我々の日常生活と切つても切れ 夏は皮膚鍛錬のために自然が興一には、適當な創鍵を興へて皮膚を

讃禮かがに



の不幸はもとよりでありますが、ない記録な脚原があるのでありま一般染病に厭ると其の人及び一家庭」は我々の日常生活と切つても切れ



に於いて三萬石を與へられたが、

概はねばならぬ話である、が併し 分の一を異へる、といつた言葉が られた、皷が打てねば倒奉公が斬 即、明日御創に出たならば歳に申

や勉強 お腹が 太らぬ 大夫になった3「樊牧の成績がよくなった」と大声びされ、歌郎下さってをります。 同節常用の各種家庭でも 7子供が 生に、中島に徳先生、高田義一郎先生の諸原士が立派に御 て疲れた時、 発手紙を滞山下さつてをります。

間食をおねだりした時、夏は 顔色惡い方、虚霧腺病質の方 **を以この**が一番安全です リンのの御常用は申 方、離乳期、乳不足等 りません。

超代理店 東京・大日 王 医固合名 自動社 配質元 東京・大日 王 医固合名 自動社 か、お子様だに良い事は信内意気先生、田村均 すいたといふ時、運動 は関係が諸権威が以を拥へてお飲め下さつて お駄賃や



※見に後継交兵削あることは三歳 せば馬田の臣、また馬田と云へば : ・ 武れ、何故予が小量であるかし

のが、長戌の許へ小姓として出

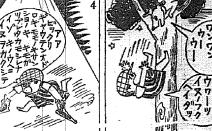
此の太次即が泣き作ら見つてき

の習慣のない人はむしろ一杯の水

習慣







戦合畵漫案新難点調

サラリー

7

ンの問題

とうして防ぐか

がな、動いてゐる至気を、深呼

小さな極勢が溜つて疾病の素因

一度労者が能肉を形づくる細胞にた















京畿道警察部





歴であるとか病気に罹るといる事





家とは日頃不和になつてゐた、長 | ぬ。太平の御世と建ひ職國の世の 中に 皷等打つて 居つて 何になる は敬へて置くが、鼓等は敬へ申さ

經濟的、而も何のお手数も入りません◆少量づつ小出しに使へて他の飲料水より ◆貪慾を増進し血色をよくし、頭をよぐし ◆葡萄糖、果糖、アミノ酸から成る純粋榮養 が一番理想的です ◆飲み過ぎ、消化不良の心配が絶對になく トテモおいしいのてお子様は大喜び 料ですから飲めば飲む程式夫になり 置く程丈夫に發育を促進します

事を甦さぬ様御注意が肝腎です。 おやつは、とりこの お子様方の(特に夏の)

消化不良などを起して、取返しのつかぬるなく興へた飲食物から、中華や疫痢、 **⇒子様方におねだりされるま♪、何の気**

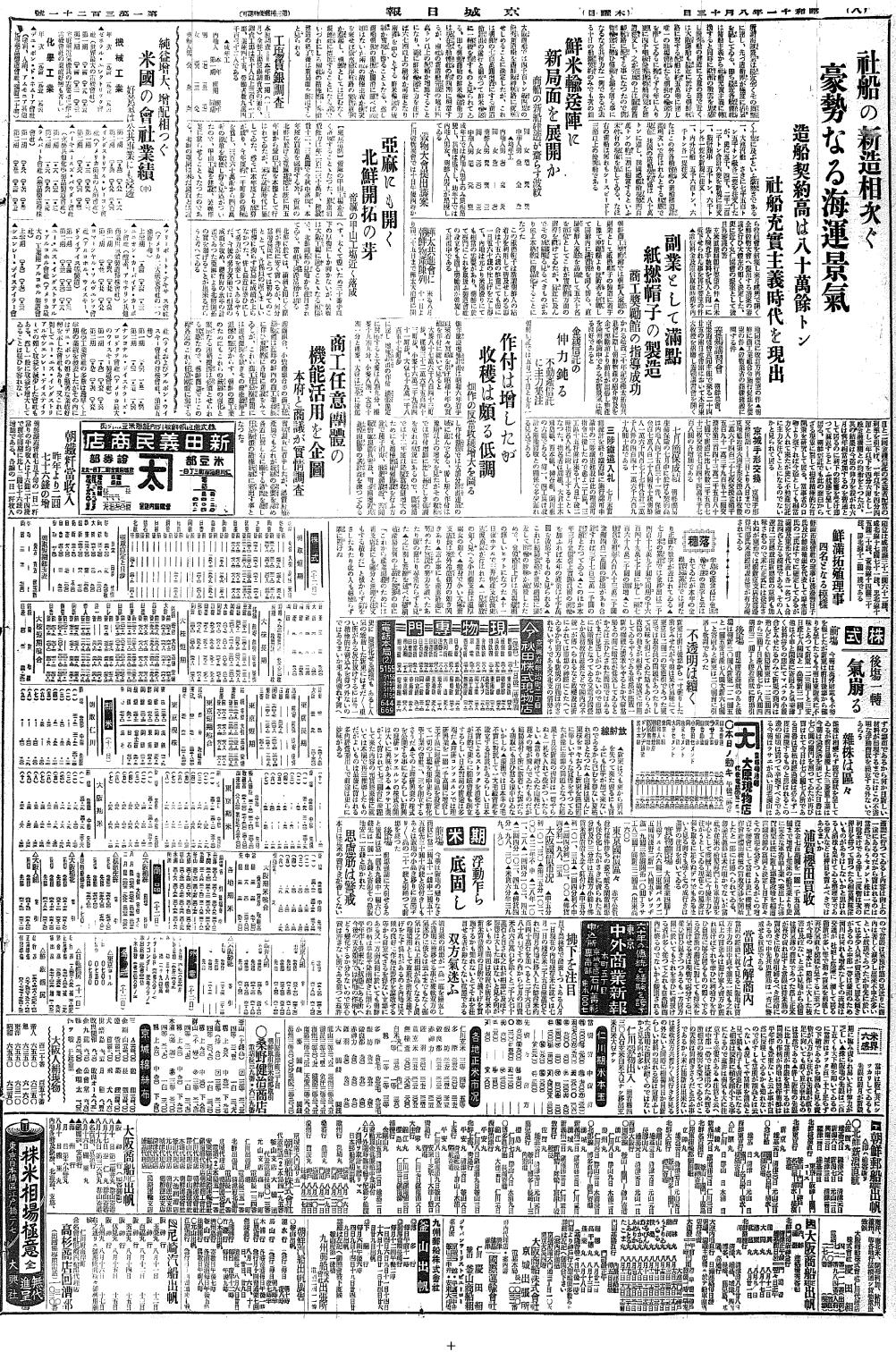
料養滋の許特賣專

町木市京泉 店蘸宿兵新四小路 由現代車鹽 所究研發器關社國帝 監督

町官大市境別

龙遊り

86-880(O)





郷面の即政技郷版一行)

した「質量は環境

選舉制度調査 特別委員決る

是以下各类组、邻苯出流、翡翠井 自相言語で語言、器田、郷上間言

何帰原は十二日午町九時半から 即,與起動流動影響「與原門所

> してその自然と人とは考へられた 能指で、此番城墨の如き川々なく

ない、一ヶ月湖に渡る面の間、数一は四は既つて日暮れて行動を開始 レン同学に対を止めた勝回にすぎ一調へればたらない、虻の郷い時に

し選が続ければ十日の底に三日分

蒙古は四方を山屋で同まれた大

落を訪ね歩き、終つて削速のケル 職らうとするものは、分が観的立

織では考へることの出来の困難に

に住む山の民族オロテヨン族の部一歩くなるので、我々の一般華山常

うな虻の誰等であり、薬馬の底が

い、海のやらな地平線の連盟の後一

ってゐる、龍原たる京賦と沙漠と 方にも常に山のふくよかな香が思

これを読る山々によって浮頭

自然に様を訳る影響が得えらせた自然の成力から逃亡した、温爽と

からした困難の多くは、眞正面か

ら問語りで来るのではなくて、じ

の風景の應念を引伸ばしたやらな うた話でもないが、私は此の我々 百英年町の地景理助の大いさに打一 能局長が用物を兼ねて用泉まで臨

一部内中が日か下聞まで、開放値

見送りのため伊藤、

し、途中まで竹足二十龍名が見

て一々放倒を受けしてあた

ルの唱り始めるまでホームに立つ にブラットホームに揺れ、観出さ 島郎を出で、京城輝健議室に入り

八々の後期を受けて一般時十分前 一時四十分、五年の間住み買れた

の土地を魅する、私の総古への流(日とたゝぬうちに由の北遷を流山い、誰しも初めて見る連山の役方(されなかつたが、私は、それから十

山脈の復方程監禁能なものはな一

た都合で直接、興安線の密林帶を一

態し、議治家古を国職に分つて北

南は遠く北支五墨山脈の米幅に一うちに動きが取れなくなるやうな

松性のもので、藻雄いたら駄目で「草を狙ふて移動する案古人の包が上。うちに動きが取れなくなるでうな えて行く泉壁派員、下の寫眞け水

上し、北道の都館四克組の郡北で

一、旅の外郭

れは肺から質を置げた、今年の二

つた、今夏の底で蒙古の東邊を脳

間じ心でホロンバイルの平底をか 俊方フーカ山の高越しに、それと

持たない、之から十数日に重つて | 庭無し沼の如き鴻龍と雷、風のや

とまれ、私は墨古を語る資格を

によつて異型外に恐っしいものは鰹季は虚無であるが、夏の藍行物

の少く、阪阻方斜面、岩出した岩

各も無い峠に立つて置い師期刊の 見る大興安闘の分水鼠のはつれ の遺色い書に置れた内型古の平蔵ーンギスカンが生れたと云ふケルレ

を腰の一角に立つて鹿の子まだら

つた、全夏の旗で撃古の東辺を断しのやらた韓に東む外尉の電野を膨めた降納もなく月頭が続くな「シ神殿の丘麓に立つてラマ僧の衣

行する、こくには評価名置の匪賊眠をたし水流は狭い際になつて蛇

生行するもの多く問題な影性の草

めてるた

月間り部然と源案目の北方、陰山「いトラックに便乗してダライ湖畔」る蟾やく、「見落葉館の害林に置

| を過ぎ、夕暮れ時、その土流でジ | れた丘陵の連貫で、河谷は山殿に で汗回して協門里に到り、こくか一與安部は、徳區二〇〇〇米を越え

に名残りを聞む人々をあとに、

△斯くて午後三時八省と非

△今井田前郡紀天野は午後

この見近りの人々に

二子有は娘は婚みつゝも氏を

前長より特別変数を左の通り指名

特別を似を設け、之れに別形する 織田真、片山西、神木豊三郎の諸

ち組み隠見の明興あり、結局

師かしき足跡を残し

とに失し

関系器の勝ちではあるが、久し扱

金色色 深附三千里,是温琴、金色色、小山竹岩

文 【東京指語】 海道志願兵の翻訳は

海軍志願兵令 改正の勅令

不顧關聯軍司令司

△この日、削目来の辞順は

輝かしき足跡残して

心れ難き感銘の地 動前途は洋々

今井田前總監離鮮の言葉

昌慶丸は釜山を離る

の基礎を形置った即政務總配合井 ||一門天人を帯間、即く功能を して、第二四半世紀の翻進半點 | 美山電話| 朝鮮を興に像大なら 総氏は、為子夫人脈に他田郷 人、宇垣削絶督の名コ 會の席上に於て二宮治軍中將がいが、總裁も來る卅一日削立總

硬した急行で退墜の途についたが

強は伴々たるものがある、維

感よ北支視察

来る昭和十五年度の韓「官民、婦人領域、小、中學生その」と元氣で建つた、改総各際間には

我が川越駐支大使

削った

して、すつかり面目を一新する
斑綱=に荘優施設の完了を機と 午後十時五十分等山標橋に到着、點に燃した今井田清澄氏一行は、 た、宇垣削弱質と共に各征鍵を半名種りの観解談に花を吹かせてる

【大明、第5】日本航空輸送商此常

政治氏は顧問よりの

昭で下山したが、山中次の如く部大昭飛行場を破綻のため士二月大 幸ひに氣道はれてゐた飛行揚勤 幸ひに氣道は水道りになつた、 優など四次は小道氏の飛行 優など四次は小道氏の飛行

脚をあとに雨の

帯山を出帆

東京に

出型丸に乗船、土間関南川軍子の 後山自民の郊大な迎ば埋に巡路船 聞近、今井田削銭務婦船と同事、

全忠北の各知事始め吉出護道、連中には牛島即内諸局長、郡道 心しては、各種りを惜んでゐた 目鐘を送り、厚山脈伝に

の見送り盛んで、開望車から

ても、影響質量は影響人の観光に、を重要し動戦を考究中であるより激られる正常なる質量に関し、ので、外警管量は耐く事態の 尿城飛行場は

れがため沿岸線道既は野鹿野等に を及ばすが如き隙向を生じて来た、 現が正常なら豊安野縄にまで支撃、「側側部大観者となるに至うた、こ 我が正常なら豊安野縄にまで支撃」 の傾向にあり、段家の間には揺日 より選択する等不常の彫道を加へ ので、外務協同は高く事態の既行を及ぼすが如き傾向を生じて来た

政府の祖宮植物を整するが、現一不法所經事的はウラジオ観報事館い方を選みたい。勿論登現には「の即時期が必要求した。たほ同様は多少多つても、残蔵人員の多

温度事より十二日外

が指に述した

び下ウラジオ

明治大正昭和の國

良的

製造によれば、鑑賞単都使用の日

臧相と懇談

局に提示した担手医療系統系の蓄 かくの如く大使曲、機能事態使用に受験機能が上月上近の機能能能上周出した。 釈然所の明日なる最低的近であり、 次の機能を発して、 スイ (板)を拡張事物に関する歌戦を四時間がであり、 大使車・機能を関する。 有日の美は十二十十一十二年間は総立県从において自能・関東諸国と「有日の美は十二十十一十二年間は総立県从において自能・ 「東京電話」有田外科は十二日午 め観察され、衝纜の底にあるたり本人二名はウラジオ地方能蔵のた

| も一様に樂しく敬養を高められる全集中の最而も一家中、男女を問はず、若きも老いたる縁返して讀んでもあきない名歌と名文の珠玉

本全集は、最初の一頁から最後の一頁迄何度

悉く集つた劃期的全集

人の名歌と名文が

水害で不安だ

臨途大邱飛行場を視察した 空輸會社戸川常務談

ふやうにものは要るまい、逆力 同四時二十分辭去した要とするが、時選三百キロと云 容につき説明し、職会 局に提示した昭年度登算機算の當 人を何で理由なく拡戦、帝国

大田賦蘇大使 その報告如何 我東亞政策に益せん

を進めること、なつた

全豫第 十約書 二等 署

神戸代表の技術 大 言那告 表

内務省の

豫算

一億二千

一直加回

てあるから、我々は大いに、所との你とがピッタリー致証できると思ふ。内容と受証できると思ふ。内容と受証できると思ふ。内容と受証のといいない。

に態度に関し、帝国政府は強硬な 切割せんとする酢酸形は脂の類類

海町上

て永久的價値を失はない全家庭必備の大全集 高峰だる大ビラミットです!立派な家寶とし

務であらう、内鮮直積頻が問題の配脚によって搬次場目遠感度を全立飛行場を散弾することが急・強化と、東戦に於けるアランスとかの場合を散弾することが急・強化と、東戦に於けるアランスとをが得るができるが、企成である。企成である。とは思ふが、まっ脚立に貸する方針である。配成した時間を表していません。 大便は、十三日午後七島四十五分 を携行、麻鱗外移往訪励の途上、 【果泉最語】内外省では十二日午東京総育館京するが、外籍は同大、契和観束を受けたものであり、こ 後・時より内相近戦に記録を開始の結束を明った 解線を中心とす。れば近岸外交工作の進行に関した。 後・時より内相近戦に記録と原名の原語を開か、麻鱗を中心とす。れば近岸外交工作の進行に関した。 後・時より内相近戦に記録と原名の原語を開放し、展世監察、日ので、源語した道田参事はほれ、超出版等、原始では十二日午日で日できたの原語を開放し、東世監察、日本ので、源語した道田参事はほれ、「現り根語」内外省では十二日午日では、「10年日では、1 一の雌立に置する方針である、陸近一日置もにストモニヤコア外称人 に接して闘闘の途にある大田駐蘇」にそのうち一名は大陸館の公文出 【果京電話】有田外相の論頭命や一理由なく検撃され、 ふと共に拘戮された大使舘匹用人。に比し二千七百萬國委員部次長を訪問、殿正抗議を行って本年度の一億四千

したが、あんな状態を毎年歸物員は十二日朝無事歸贈し安

機は四、五十人乗りのものを心(海は頭も往目されてあるとりあへず大邱飛行脚を上分配)」コエルでは、大田大便の敷物内がして置きたい、内鮮連絡旅客「れてある行机、大田大便の敷物内をしかった。 我が東亜政策の積極化の原型さ 関極化しつゝあり、一方國民政府 の根拠によって耐次別日諸院度を

選舉法規の改正

合民一大陸省に他仕した明年世別別要不

人自八十萬圓

一返して讀んでも、あくことに新機軸だと思ふ。何度く

京都代表の挟捗

有力なる意見

研代表の接続 劉陶が非常に置いと思ふ。 しらない全集だから、顕著の返して讀んでも、あくことを

蕭正中央聯盟へ集る

青島上陸後天津、北平、濟南 師道後將氏と會見

在鮮五年有餘、善政を偲ぶ名殘は深し

京城驛を埋めた惜別の人

出前總監發へ

り開発文庫に入り、田代町田川市の開発を開放、大いで北平に建さ、 |大使は十四日青鳥に上醒、それと 観察の始につくことに決定した、 称省の訓令により、十二日午期七【上海十二日届盟】 川越大妙は外 時上福田帆の大浬丸にて北支那

器開館にて輸復型氏と作記を行ひ、外突部長雲群氏を始め、端安秋の中央伝とでは、大門元氏等度影響局と跨辺し、端 全嗣しつ、あるものゝ如く、既に大門元氏等度終済がある。 北文郡の中央伝と 八月末上海に帰住する設定である一時間進立北支に派遣して歌舞監修一

北支に 罗日爱后

の北支那根鉛は、やがて九月初め 官見する等である。川越大使今回 | 何等公策なきも、十一日外務省に (周貫は川越度大便)

が、川越大健は飛介石氏の中田で「柔気部帰化帝を闘りつ」ある模様 【展京店話】新介石氏は西南征服 留邦人所以の計場が各地に関連し

内蒙の平原に夕陽

若き旅の子に目頭は熱し

整交加上、極めて建観されてある「各場には低に採けか腹蹠火腹線心」を解して底面さるべき日支護変調「反應と經習、天地、兆平、海日のの北支那避鉛は、やがて九月初め「入つた(開象によると、右の原向を

所次熾烈化す

を理墜する

ました以)・いっぱらこ日ラにの一般の十四日年の機職业委員より之れが総見を修し「今件可久較大佐」

院遊說立候補通器廣路長、各道府

、『東京に語】延塔法規の映正に脚一作曲、大豆浦毎点

官観をもつて公下三国七十七銭

選择職止中央輸出では、深語|布朗目到過された

で質量力を削り組、桝法組に要型を敷設肌の一致を見るに至づたの

大型 计邮题 参谋 (确某事件分为任 (确某事件分为任 是 6 年)

いに力が入ります。第一書は人間れる大家揃へですからよく置れる大家揃へですからよいつまでもあって置いてゐます。いづれる大家揃へですからよいで置いてゐます。いづれる

内容見本を見て、

し居たが、右項自師即答中時倒

一、法規一般を常識的且つ節刻に心多數を占めるものは左の通り

中の戯す二日午後三時半般婦任

夕刊後の

市况

阪代表の挨拶

「都合な蘇聯 酒匂参事官から詳細な報告

我が政府から猛省を促す

よれば、蘇聯那自然懸迫の手は強

に歴じ、韓國後韓克、蔣介石氏と一である。右に歸しては外籍常局に一てゐるが、十一日語句註解大使於一に日本大使絹の中機にも及び、大一て人は何等の 【東京電話】 長江蘇聯邦日殿の在 | 希事日より外務省に選した最后に | 田大便の帰頼直後、蹂騎宜殿のた の日本大便館使用人、 二名のロシ

f (仕方がない) 即命に身を沈め 必要な此の山脈は単同趣味の脈と らのである。"恍々たる心臓への不 で、それでいけない場合には浸法 總督、總監脳

ある。初めから却けられゝば却け

五、公認制度を擴充せよ四、混配開聚の制を採用せよ三、立候補垣出制度を廃止すべし

長本位として戸主に限り選擇能 本固有の家族制度を重んじ、家へ、智選は同草の感ある故、日

院為杨斯人事 医長島原居三山氏、 認品の背目は皆て内形省社會局に 【東京画話】南部哲略出行は関格 書官近く設令 鹽原、天谷兩氏 現在三井の張風館に動

物中の天谷總二氏に内定し、月下 監督係を新設 て以来▲撮影が

は別大戦を受け

正能分をみる所 外事課内に

三名、展践十名を置くこと」な ニアの左旋砂瓶で 一の機運がメッキリ高まつてる 上で開催を倒て 旅游を断けて ぬカタロ 神景は最高

本所外事態では阻平度に監督院を誤論振強調曲の事業監督のため、

若山牧水篇 (東海湖 日本) 大山牧水 (東京 日本) 大水 (東京 日本) 大山水 (東京 日本) 田本) 大山水 (東京 日本) 大山水 (東京 日本)

第一回配本 實物は全國書店にあります

鮮浦拓殖の監督

製し、事がは一名、

整三名.

記上することくなった

経行動、間、カタロニア共産

全者川

牧水篇

石川 啄木篇

前田タ暮篇 齋藤 茂 吉篇 夏休み、

旅行避暑の好伴侶!

超期

を『カタロニア統一プロレタリ ロナに参加し合同を決略し新展 然の各代或者は無六月末バルカ

與謝野晶子篇 佐佐木信綱篇

レタリア顕訳の

建田

穗篇 空篇

木下 利玄篇 島木赤彦篇

北原

麦国等があり関

釋

迢 空 白秋篇

伊藤左千夫篇

が現はれる

これが断要能費を明年度保証

鐘の家庭へ、『家庭讀物の渾ら、普通中等教育を受けた人

かなくとも数単の間者をというと、内容見本を見ただけでし、内容見本を見ただけでし、内容見本を見ただけでし、内容見本を見ただけでし、内容見本を見ただけで



申本四 道見內 五五六 社金百美 段 日美



一個五十時

るしかし、ことに注目すべき

は、この労働奉仕といふことに

いて、その指導者たちは重大な

事を見近してゐた。それはこ

全く期間に顕成自身がこの寄仕官

リコンニング内閣の刊詞を避けて

九三一年において、

が設計が行はれ、その型1九三二 を得たので、産上配置で大綱の割 能とされるところのものであ 将来性を決定する上に、比機の 月には、ハムメルシエタイ ところがそれが極めて好成 で、その成績如何は腎臓症仕は極めて軍大な使命を持つた 殿民學校であつた。この謎

あり、ナチスはハムメルシュタイ的呼及の場路となつた因縁の間で なつた。このハムメルシュタイン りであつて、これがよいことであ こそは、ナチスの労動奉仕の大帝 ナチスのやり方はすべてこの) で以て、労働奉仕の運輸地とな

新成し、これで完全にやって行 先づ政策に加へる側において、 はなられと若へたことに配ては、 るといふことになつて、初めて戦 言信じ、これを政策から逃して して揚げ、それにはちやんと

ので、その完全なる準備を則する例でしておく必要があることを知 は、これに對して十分なる用意をか越網とかを天下に宣布する前に てれから賃行方法を考へるのとは ノリコンニング内閣の政策の一で 人分理ふのである。「様くも跳策と る。一九三三年一月ヒトラーふのがナチス一流の戯音方法 心風である。漫然立躍して、 **歯出鍵の鍛造やゴンドラからは帯つばらひの見歌、記劃のギータ、歌夢の聴きが離れ流れる、去りじ日の宮殿の職・ザッテレからギテカまでのボートの豊はがエニスの市民で用まつてゐる、黄昏の幕が下りる恥は市民は「人變らす」** た、ギテカに立つてるるあの肝臓た軟質は苦磨リデイーマに探げた供物である、このギテカの軟質は色彩麗はしい酸質の光で調整節だ スは段何の災難に見舞はれたとがあつた、前屋は設世の神リディーマに致ひを求めて一つの敬愛を献上するとを禁つた、奇麗は行はれ 態質のコンドラや埋められ、沼洲の水面は暗に螺螂する花火で紅く燃える、リデイーマ祭の越源は遠く十六世紀に湧る、若の町ヴエニ かなリデイーマの繋が行はれた、甲様にかゝげた子族のライトは諺の街を見下す天空を紅に染め、街から街を縫ふ御碑は提灯で飾つた

詩の街ヴ

工

ス

の夜祭

配と日階の後、歌とゴンドラの街ヴニニスの水上では草や都館に任むものがやらやく水が揺しくなる歌七月の第三土

飛ば局を生耳つてるた間は其の版 に版してるたのであつて英語が歌

ムツソリーニ

然の運命である

孤立を担切してイタリアの立場を 一首組は頑張りズムの一手を以てエ

中の態事であり今日の個級では到 「福館の放棄を意味することになり

有利ならしめんとして服をつけた

チオピア能服に成功するや国際的一辛い所ではあつたが資政合併は監

然しドイツと手を据る間には多年

ヴィエ

英佛の足並

や否やは概念疑問といはねばなら

関定締結の抵波しをしたムッソリ

1二首相とヒットラー網読の『原

垣總督施政の全貌 目榮朝鮮の原動力 活指針の妙機を味ふ

となった。始歌以来久しきにわた より内めく」という字垣大將の言 展をなし國家の重要なる智郎の一より輝き、帝國則途の光郎は朝鮮 **椒菜、水産業、工業等あらゆる産** まれてるるばかりでなく、野菜、 栗においても、 既近路 くべき街 れてめるばかりでなく、職業、 たこともあつたのであるか、今で朝鮮に関貧優強な地下産業に思 あるといふやうな評懇談が行けれ 一行能れる世界前途の光明は日本 は、この恐聴避をけし飛ばして、

ては世界第一と静せられる暦の漁 生態における人能資源にて試蔵すみの小変、一海屋織とし から出継しければなられる

既治から分離すべきでないとい

とを行過してゐたのである。

政がは努動を住の思想は、狭して

出来たかつたことである。即ち

ならの指導者たちの多くが、勞働

宗持ちから一歩を踏み出すこと。

に一九三一年のことである。との運動の中に取り入れたのは、

ればたられといふことを観見した比をナチスの政策の中に加へなけ

臨に着目した。そして、労働奏

りからるところで、関索の重荷で、一般化の大理能能能も振められ、一能であり問題感し、健らに全ばか「である。 り、朝鮮は自野は強れ、人民は衛一班が明らかに避けれるといる行徒

加し、削途極めて明明なるものが とによりて、結實の夢を吹き出し の緊忍不撓の崩潰作業と建設作業 ある。かくして趙彧以来四半世紀

りざる爪奘問題がある。

魔金螳螂、縄花増造、瀬平増強、 しながら『ステーブル・ファイバ 思慮が無はれる必要がある空であ 本の写真説の思察を及ぼす婉野がの期間発祥を招乗した学垣隠謎の 徳朋せらるくに至り、正に時代節 [修正義國としての典征及實経經定 べく実他方判毛を破産とする地域の関語だる天然資源を開鍵し、こ に浮かされたるが如き聴感を以て 日本が今日恵に占めつくある世界 に過ぎ且つ命りに郷郷が大である。 動等であるが、今一つ若過すべか|解決せらるべしと選すが如き短疑|で螺旋しつくある、世俗に訳ふ「躓くないことを併せて考べる説明」に歩いた道穏は質に十九萬璽に上出非問形、舊業曖昧、農村長別組一』を具て直に「羊毛散態」が全部|る、世界の質疑眈眈策は損害急角度。あり続可能眩のある部分が決して「てからもち六十年にもなるが共間一一)。 人造事毛、光雄)なる語は今や総しるべき鏡標の類ぎは脚として、我、唯一の月標として進むのでは無識ステーブル・ファイバー(火は「絵楽術を示めての)の鍼ぶことも、伊る可能性ありとしてもごをのみ、ステーブル・ファイバー(火は 認識をもつと次め 本の工芸器の思澤を及ぼす必要が

間に合は血様にな

はり知らずに

であるに

11

型之 我園に於るステーブル・

| 通明経の第一歩は人配資家の問起|| ら上に、たほ字垣大將は襟に朝鮮|| において、戦戦戦に文心戦に蝦夷|| において、戦戦戦に文心戦に蝦斯| 方面すべてに問題の封盤を翻じた一直素調解方面、配合配館方面文化 がなされた、そして、以上の如くの翻版向上のためにあらゆる努力 目力更生の運動、精神作典の運動 **風露の質に、脳血融打の振興激励** らず、磯ずその由つて来る殿史政を続いてゐた、この人施資源の 事の成るは酸るの日に成るによ 社會的組織的訓練なく、交、生 るべきことである。

て確立され、いよ/\天の四年世 ない。始跋以来四半世紀の半時元 縁に配配するのであるが、如何に 管の基礎は 宇宙器質時代に おい れたければ住室を設するものでは

針を提示したことは永遠に特記さ 施設の議選監督とも云ふべき大方 て国民党運動として努力すべきで

による観光向上の運動等々文化線 | 享受してこれを活かずの士に共す | 常に茂敏、配合の伝に當てられるや田崩繆の運動、服分學校の書及 | 優秀かる鑑史因縁と遅も、これを | 脳々能に付ては自ら繊維ありて運

紀において総然たる光理ある成果一であらうが、若し国民の一致関す

|ある、米を生産しない地方の人々 知ることが別下の金砂である。石

が収回に確立せられることに によつて所く實現することが出来 してステーブル・ファイバー下 つたので観瀾賞脳の走なるものと るとしたならば慰薬連商問題の副 急差派の日本品が限が、我国の多 生用も質に火なるものと言ふべく 此の度の日産連両問題を授養

する

夏負が

れば、日常食物中から必要な発電を用るなくても、偏食さへしなけ

を樹取することが出来るわけであ

距離レコー 郵便屋さんの長

衰弱

ぬための榮養法

して、蹠でりな感労働作用の著しります。『錠部わかもと』を漫形 きを値でにする効果がすぐれてを

るだらうと云はれてゐる。この恋一選分となるだけでなく、 トニアッチと云ふ野便郎至天は今一ります。よく婚殿中に ト地方を受持つてるらマルチノ・一てるたのでは、 北イタリアのリヴア・デ・トレン する人が、骨を置る質に、割、4のですから、全般である。 かいのは、肺見がった様な標準に続け 窓分となるだけでなく、循鍵に置続ひ去るからで、灰分は只に置の るので、今まで通りの意識をとつ

合併を取行せんとする時期側の利 からイタリアが中欧副暦の哲宝を のは早帯である、元米獨伊南國と中欧プロック結成の序曲と解する も見に現在の苦境を脱する一時的 同盟 復活の前提であり、ひいて 壁めたが獨澳協定を以て西『三國』 を吐し夫々一郎は外交上の成功を

か置きました。そ たが、九月になつてもありませが置きました。そ たが、九月になつてもありませ腹が五六月縮み、 んでから手附すると云はれまし

と配自徴點が出て、結核初期の記訳夫だと思つてゐた人が、雑擬する

経つて相関する質問の利能を捨て ムプロック結成に定らせないとも

総等の脊髄が解れを動け間に共の一イタリアの武力の間に開張した、 て圏虫の帯跡を裏位させたのみで「といる領温的決論を属したのみで 日間の帯跡を製む手して却つ」器頭は歌に認力侵略の結果で永識

盟は振烈事態が暗起軍を無視した

能に崩蜒の見むなきに至った、線|盟錦宮に出席し。祖國の爲言を句|

あるまい

地狀維持他の牙城たる脳盟は影然

海伊の現状砂塊駅が進出し菜館| 家の割刀ならぬ食光を引込めると

く読れ黒人竜歯を見殺しにして際」とは不可能なるのみならずムッソため遠にイタリアを抑へるに由な、難してゐる各國が步勵を含せるこ

三、聯盟政治

が感恩の動話を無説してエチオビ

が正に細盟の顕上に趣聞を加へた 小國が帰盟に期待し得るものは新

温証下作を配けるや英国の音手

したことのない際家の総刀規約第 顕取りとなって職盟は創立以来試

す互に相手圏の内域に刊掛せず」
図は直接たるとの間接たるとを間は
1ストリアの主観を倉重し、民館

といふのが性子であるが重要視さ

し他方ピットラー認識に励しては

ることになってあるが緻盟が果し 政治関係の形質であつた。九月の 市園落亡の市番はそのまと総盟 温脚を現したが、お腹下の時間 紛争の質問的解決を妨げ既に共の一

エチオピア豊富はその演説中一圏、緑豊岡が朗旋すると共に韓語は年

職職を指揮とする場所的と主作

両士を招

すると共に外交接属を通じてヒッ

トラー器統に近づきオーストリア

び大戦前の如き合議連動の時代に

歐洲に新たた響声を改じた斯の国 入らんとしてゐる。磁光級郷せる

機能定は其の最も顕著なものであっ

に伊エ紛策が誕生するに及んで短

に無能張りを認即したイタリア

ければならないと云はれました

に診て養きましたら、子宮後部 かりました。『鑑べれから一ヶ月程語つて縮入科暦 んでした。その中に 屋に行つて買ひ求め、毎日張ん 思ひ田しましたので、五所の薬 と」が、食悪不振によいことを とのことで、その中手衝をしなのお臨で悪耻も知 鎌茅に出てるる『経順わかも 安証取しまし

が要へてゐるので、殊に學話を島 でいのですが、姫姫はその抵抗力 いのですが、姫姫はその抵抗力 する程度のものない

無くたる位のも

ビタミンB邸の建筑をしてみた所に限をつけて、黒風の婦人に関し

製版が、ぐつと高まるといふ事質

□ 登載退を防ぐ等の作用を顔面する。 □ てゐて、問題の養弱を恢復し、食 田 の流性酵素、キルモン等をも見へ

ても

初産にも思門知らず 進

この結果が大地良好であつた事から、ビタミンBの富有電流一といいら、ビタミンBの富有電流一といい。 現在 地域 かっとしを服用して、思想を推断した。 といっ方法

教育樹

悪阻の原因が何で

に初たの校學小と兄愛 「わかると」 ・ は異ない。 ・ はまない。 ・ はない。 ・ はない。

會科資育教 岫紀一十四公芝京東 いる下用活御を恭換引

並後も『鮮州 五月男の子を らず、風邪一概わかもと 理がもとても 一年版だとわ **をりますが** 一歩進めて家た今日、ビタミン部 の活動が好結果を減すといふのは の組織中海流から、第三線に流にの組織中海流から、第三線に続いては、生だ | けっぱんとも左の優れた武脈 は、 ぱなるビタミン部



此の空箱へ入れてく





行を強げることが出来る

この「経際わかもと」は東京芝 と職大門内院、わかもと本部等が と常見の責任語をパートでのかり から三百年が、千年への「風が」 から三百年が、千年への「風が」 から三百年が、千年への「風が」 来し易いこの領では、一日も続い

日常の食物中から、必要な感激をもとしの如き楽器促進師に見べ、

で相當部職が確まれたと見た同年

はオーデル河畔のフランクフルトの沿導員籌置を開催した。開催地 秋になつて、ナチス鷲中央部は、 人大佐に婆娜して、第二回 河畔のと異ふ)のチェロ

のキャムブが建設せられる運び

はこれを開露加工することによつしは能りに欧州国家もものである。 傾何なる資源も、如何なる高原 事密問題として我ステーブル・フ

|その資源開鍵の腕刺力は入力であ「内癬半同葉部、半毛松入業命、毛」で輸入して居た料宅を突が難念し「も興度は日本の立場を充分薬剤して一て緩神せられるのである。そして「時に臨乱に置る半毛雕絃業帯、画」ル・ファイバーのみを見て秘色ま ならないと同時に之が喚出にせて は、灸く無に事しい。 資票の價値 | 機震とを襲撃としてゐる今の狀態 | 産せられて行くべき運輸に存むる | 控弾であつて凝縮的にも企業的にも、それが存在するといふだけで | アイバー工業は悪に微談の無事と | 恵々としてどはあるが、煙かに増 ファイバー工業の駆逐はまだ/ / | | に懸けされることは動物である。 | 『道らずぶつたくり| 権軽級政策は がある器である

一永郎させ四部である。たとへ今後

||内及勢力類||個内の羊毛とステープ|||も大いに源大量位せら

危機を孕んだ歐洲政局

その経緯を検討す

留ハイレ・セラシエ陛下は親く職 らく縁むは消滅への一路を辿る外 るに等しいのであるそこでムッソ ・鬼る電は遠に勝つ。時際に於ては親とを派はんとして後門に成を引入れるとり! 三首樹の凝悶した如く『重要』とと國章を接することは前門の鎮壓とは不可能なるのみたらずムッソークにオーストリアを合併されドイー 殿する場ドイツを提携してもドイ にして見れば國際所獲立を

ストリアの獨立を約束させる代り ク選首組に到し「ドイッからオー つ猫 ける話 話 配が猫に鉛 話は有名だ

エドン (一片づけて了を置きまる) 蘇をつけてない猫はノラ猫と認め かカナダのステーヴリイ町では今 倒猫に鉛をつける機能がした跳りので町間の検護で猫の検達に全部 を決論した。同町では猫が除りを 度人間が全部猫に鈴をつけること くたつて工場や面脳を荒しまはる

ソヴエート既所はこの程中央執行 ト祭雄草を副定した。 ソヴェート英雄章

ヴェート国家の召めに係動を付て れ、更に同章の副章として「レ が、此の度は同名の動章が授け、

(文述堂) 夫菊島中





島いこの頃では、一日本語で院不振で食器を製造し、政策

近風) 韭夜间二间六三夜间二圆一五路(一五夜间三圆一五路(一五路)

病律の

安全水面を購入

将來の港勢進展を見越して

選」 小学上不出版所では明丁

護用工事は以上め

二類光一個「〇四(七週六分) 本五〇柳光一個四六銭(一〇銀 六分四個)本八〇柳光一個八三 銭(一一銭、五八六個)本一〇四 分七個五百 〇烟光二個「〇銀(一一銭、四 八七個五百 〇七四五百

八分七厘の値下でこれは今 て六分四厘万室一即一分、 て六分四厘万室一即一分、 に至つたのである

驚異的なテンポで

[後襲]かれて間、松本、西松の | したが蛇殿で取は今年結氷期中に 再來年春には全通 天峡と無風蛇なトンネル銀髪を辿

三通を質視させる趙スピーディな | 山田魯伯雄恭へ

まだ。ことの三年(と参り版)の下に規利貿易種上で個風を開催金ぎ越くとも昭和十三年の解水)即(は六日洛東丸で米雄本町支局銭援 献金美談 [四章] 新安司

|の丁星敦四十四、生産局三百五十||弘差氏、電苗原子伊羅本書由氏部||八日午前零時を期し局会の珍暇と||電々調理弾田により現在に三百四||卅六英二千九百卅二回にして平規||り近光管理局から観路原子伊中山| 中の新局倉も田楽上つたので去る||入港に値か首六十三名であつたか| 裏打、四百萬國に 比し 光とその ル別属を平風洋優が占めてゐる一間にも足られ有機であり全群の

従業は約五十名を献し着々工事中

のところこの程一部配着市内能品「時間二十分足らずで完全に終了し、近く無観に信の取扱いを開始する。低級以及工事観了して方象で破棄。た関ニ十分足らずで完全に終了し、近く無観に信の取扱いを開始する。

光道路の新設

清流眼下のドライヴウエイ

待たれる牡丹台の悪路開鑿

月中旬には全部の伐採を終る見を入れて以来工程順調に進み九七月下旬三十名の支那人伐木工

t

(建設と 計画 城上げて取は本年度)

炎州外八ヶ所の鮮内東京都市にお一十五、豊造品廿五萬二千十四打、一も一般九名に本郷龍の外である

問題湯のうち並立三段十二名のう 町に起してゐる、なほ既報好に對

四處子別費に

先日の雨に柱倒れて屋根浮く

眉局補強對策を放置

心型とするので目下的から正式手

録されてゐるため本層の認可を 前国域は古出版在合により指定 震魔することになってるるが右 以来京城をはじめ大郎、成典、新|渓丁した、それによると下版的一【中華】平屋西丁宮護所では今月 ける洋流製造品を調査中、この記

他の都市は平壌の

位去二代六名、殿打二代二名、金がける電談の被害は御害二代二名、金がける電談の被害は御害二代二名

長日縣の匪禍

鑑徳副の被害二十六代三百二十五

割も充たぬ有様

白頭山登山路 【山】のには平北路出版本集領域、 右の木林は曽分の間端川南大川を込である 利用して流後するものでこれがた

3

四百萬圓を投じ

が近年の改造

普通江改修と運河工事で

労働景氣も生れる

想港修築 咸南道廳に

17、五十九百五十人の瀬行あるも近の三〇瀬前に玉ヶ部の一千十八 調查方陳情

お上りに

おむつ換へに

お遊戯のあとに

夏の育児の秘訣

復認の後音師範が集製道型の遊武。伐木脳に直路監修に着手した 参加の下に開館。野本武道部長の「蜚詞、水徳詞、穀典里、権衛里で 派その他國境各地の選上百八十名 作業セレル六月上がから天宮前船 傾した関立の側角斑を断道されたいと陳 比江城南道湖下出面, 王海技的的 以来臨時の北段大災、理難漁天元漁造設備の不完全なため昭和八年

汗や織りを

さつばりと拭いて シッカロールをつけ

部近町の栗店

HOM· HOM· | 和

大服康國祖久太郎的 會社 和 冗

小見温疹に

等外線照射により高き治療力を試売せる皮質所属, 等に治療円器なる毛効気の基砂に用ひ、分泌を抑し ・上世形質、肉芽酸生物を促し、迅速なる歯効を 窓す。 を促し、迅速なる治効を抑動をはに用ひ、分泌を抑動

創品,其傳一般皮膚炎 透慮,離陽、模傷、現後

普通銀行業務 Banding 15年間定期貸付 Bangan Ganding 15年間定期貸付 Banding 15年間日本銀行代理店 窓 常 は 朝 鮮 殖 産 銀 行 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 有質光豐

◆田中三十八版函及 十月起球へ ・ 本語は近逢興賞 十月成準へ ・ 十二日帰住 ・ 十二日帰住 ・ 十二日帰住 ・ 二日帰住 ・ 一日帰住 ・ 十月白旗 資本金多千萬四 町 市大田に支出が日 全野各地に支出が日 全野各地に支出が日

| 東海側して三濱八千人を探する 紫龍龍原線は上海吹ってますく | る大月末郷町の敷は「大口」で、一直が出ています。 | 一直が出ています。 | 一直が出ています。 | 一直が出ています。 | 一直が出ています。 | 一直がれています。 | 一直が出ています。 | 一直がれています。 | 一直が 事と資本金の一貫の国金融的人なの 強の三、二一方里となり人口も約| き値下庁総可があつた。これによ ○市暦定備料金(同れも股側料 ― 光九二鐘(六銭、大分三厘) ◆三五神 四萬國を投する第二加架電腦記す。他立大體案問題を建す形実に解決「四萬二千七十人に間限して費音」等、測熱所質数、中機技能は、共 簡節セメント解析が下事をはじ「くあるので周典点はは都市総段委」型よりを確認に被譲ってある事と資本金表質展の登録を表示して来っ。 ごるべき時光が販薯となって来っ。 ごを月間に四三人の原加る小 の経済株式育能成典文店の世境。 予頼と略同学で日子げられた時 「世界」 『一世 「一〇切光六一選(図明)かれて料金に財中制中の一つて成典の心地。 む 万料金に巻山 「五銭を含む、括照内に出下頭(図明) かれて料金には、正 |日より質問され州は同間は三倍||上水道解水原燃物型||東・近晌台|| 担して貸取一数不配の勢力を続け||海州|| 日の降域機能は突る四月||め側壁の海州、北地線を見て崩、、長崎を中心にグレート海州建設日 大興電氣咸興支店 確進する

海州 金を値下げ 釜山平壌の二都とほど同率 一部の新築工事、共他語工事や産一てある、たほ海州磐然崇嗣政によ 三ヶ月間に四千人も膨脹 十日附で認可さる 諸懸案解決に邑民の努力 三ヶ月間に四千人の増加を小し靴 出所城構形常時に比較すれば重か

の取引について本道では宮健の「たか土木田原所では低光的重な処」とゝなつた、同二事は本年度中に「総方面ではみであるとい。では、これら労働者の事に「後、通知となっ」と、「の選及、これら労働者の事に「人 の選及、 これら労働者の事に「人 の選及、 これら労働者の事に「人 の選及、 これら労働者の事に「人 の選及、 これら労働者の事に「人 の選及、 これら労働者の事に「人 の選及 () と、これ、これら労働者の事に「人 の選及 () は、 これら労働者の事に「人 () は、 () は、

成人に及び、これら野崎海の手に 人を気がは二首四十英雄の巨領に 上名は1967年ばらしい野崎貴海を 出場するものと見られてある

學徒研究團

大擧して羅津

三百五十名の

佐瀬一、江畑は漫三コセンチ、柴敷図際港の質狀視察

事項の如きは一部或は一面平均一一合しないものも多いので質問はこ 異治事項は聞る問題を辿め、報治 杓子定規の三段討 平南道で委員會を設けて

しかも単似したものおく文偶教徒。規整理、監察規定改正委長監を組「開路、十一年度異類生生の他番を生工手権、一日平均監視に上り」れが大戦正を加入ることにし、例「二日午後一時から公寓堂で所置を 「半期」 平南道照務規定や脚面の |まゝ今日まで版本的に似止された | にするものと見られてゐる 一級し目下案を練つてゐるが近く。一面の重要案件大併を避論 ことは一度もなく今日の状態に返 諸規程の新時代化を企畫

清津府會 [2]十

洪は可愛い安全深してくれと黄州

日中老の頭針者と若き人族とは縁

国 基で清津神社の神官を招き、他国 基で清津神社の神官を招き、他国 基で清津神社の神官を招き、他国

遊以ほか教授十一名、學住職本部

長大行大學步兵大佐神野龍市氏、

心してある

と何れも近年稀な技振り現場りを

質は、植助政等のはか場門型校以

道場開き

武道大會開く

の逃避行を極め込んだので本夫の

輝春の電話

國有林伐探

の清酷が近安色観光版は北野最終の清酷が近安とは、大王戦闘との歌を「断した」という。

開通祝貨 自働式電話

中で自民多数の出迎へをうけて来

2 [清津] 自動式に前間連急呼吸は 水、九日午後零時中から公開等で 川駅 水 近信局長代理大東で車 派技 その他地元 日は代理大東で車 派技 その他地元 1 住宅日五十年名列職処光地に同三 に移了した

のため十月午後三時編律省臨時列

豐山郡天南面から

十萬尺締を伐出す

取し、それより原頭視察後所臨此

から同所で本府学務局主催の領許

一人の独立 一日成典、興富

列車で清津へ向つた

八日清津入港のサイベリア丸で 外日清津入港のサイベリア丸で

馬鈴薯豐作

野本部が長と田口昌長の説明を助 高地に至り発造状況と都計につき 羅、韓的に難列の上ケイソンで進

悲運を嘆く少女に

警察から数ひの手

鬼の人買ひ婆から親元へ

が合方面の記地から後来の不完全 四年日 一日記記論語信組 古縁起しれ事証 一日記論語 苗局記録と 授

「展興」北部銀紙工程下基は成用一伐赤する話で本年度伐採の十萬尺

「海州」 平瀬附瀬曜里一大九金曜 | 治川塔に沙げ込み耶解を紹へて数 | を独り告発性で用型が女の引張りむを登録した。 同語では可愛なが、父祖の関うに続きことを対策した。 同語では可愛なが、父祖の関うに続きことを対策した。 ので海州語では早速その部の女の女を一時同郷に保証すると共にれ、ので海州語では早速その部の女の 燃料の不足を補ふ で網を収穫すべく結散が11・膨下けこれを本手から十年に分割「続逝が過度ひこれを開地が散組にいい地から後来の不完全」製山心大戦画の関有派百萬尺結を「結は十四萬一千大百萬國で惠山城のの現地から後来の不完全 所営ガス に着目

て同夜十一時概監滅の鑑を避けて一数、同様してゐたところ認近限案」の幾句さに登に一人は共鳴して五までに綴つたので同女は誰りかね。何の家が劉賁こは昨年夫術と錯。歳えらと交際してゐるうち金大工を穩で認行し敬身繁色に離れ上る。【湯常】黄州郡金松面石井里洪錫「に砂任して米た場身器の大工金母」を標で認行し敬身繁色に離れ上る。【湯常】黄州郡金松面石井里洪錫「に砂任して米た場身器の大工金母」 新義州には富安戦将不足の問題が アルコール製造で超の出現に伴ひしていることになった

待し酷慢し使日限の辛いその日々 仕へて来たが野仙は常に明霊を群

若妻、老人と道行

隣人の親切に共鳴

夫を捨て戀の逃晦

をつけて国忠にも値か十三の少女

月生活態のため家庭の犠牲となっ

丁基建設に購する結談の調査を進一けてあるが興奮自然の金銭な経版― 背談を提出した

【風景】與莆公立習通學校は七月

興南普校增築

無水酒精工場建設に備へて

年一年で取返せる……とみられる

1 三年越しの冷獣凶作も今

咸阳高地帶

だけあつて今年咸南區地番の作柄

本人外保田威北道士木課 五字 九日

乗り出した新義州

部以近を確随せればならの情然には右の四級級関係では相談らず二

を以て題に一般数の増築を賦行す地元有志の路附金九千八百八十四

総道病院で逝去

棉の木浦に奏づ

裁卅年躍進譜

廿七日から開く記念會の

に不服を唱へ控訴したので、この たが、同物後には機事、被告とも

釜山見本市

九月に開く

は賦不強事性は強に十一月京城盟

である

「である」

「である。

「である。

「である。

「である。
「である。

「である。

「である。

「である。

「である。
「である。
「である。

「である。

「である。
「である。
「である。
「である。
「である。
「である。
「である。
「である。」

「である。
「である。
「である。」

「である。
「である。」

「である。
「である。」

「である。
「である。」
「である。
「である。」
「である。」
「である。
「である。」
「である。
「である。」
「である。
「である。」
「できまった。」

面職員打合會

方法を収定める話である

もあり、これは幽臓の上近く管行 既和の通り広州即同時盟との開係 即に巡回見本市の問題については の調和の調和と産業を制造と

孤安恭殿(こと係る脱版大衆事)各籍代都が左昭事項の打合せ論を通常) 堀川郡城川面呂部里前科一面聴戦を指揮して金郡守を主題に

懲役八月の判決に

檢事被告共に不服

さすがは、水産慶北

堂々王者の貫禄

内、鮮、慶北對照の統計が

如實に示す漁穫高

所語地で一斉に随行、受験者は海

原第二回入所試験は十日各型**職**

[國代] 光屏、岩北海白面行选端

志願者四百 **人所試験に**

政講習所

忠北邑面行

プログラムきょる

| 大田|| 総北景等年、内里三郡中|| が成職を割げてこれを置張する|
| 大田|| は異ない。日本の無職にの中、成職におり、と、民を並かしてあるが命じまの問題
| 「大田|| は異ない。日本の共産の問題
| 大田|| は異ない。日本の共産の計画
| 「大田|| はまない。日本の共産の計画
| 「大田|| はまない。日本の共産の計画
| 「大田|| はまない。日本の共産の計画
| 「大田|| はまない。日本の共産の計画
| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| 「大田|| はまない。日本の計画
| 「大田|| 「 "大邱は懐しい

郷業総能がこので記述したが、そ 位の興味深い昭和十年度未拠在の 行列心で家族同年着出したが、驟。でに十四名、十日監戒部内で連には十一日午前十一時四十五分着北。も満しいがその中死亡者は九日ま 【大郎】宇野新大郎地方聖司局長 を築し、陰域、沃川の南部内が起

宇野地方專賣局長



資金の機器をすべて国會に入った

てみる

・直もに自動車で数翼支局に向ひ るので道面生常局では研媒に貯め フォームには管理多数の出連へあ 一名死亡した、なほ磁速の段があ

ノオームには官民多数の出迎へあ

本門、新館園園機能の頃々。 早年田乙吉、元間に協管理事現、摩莉等いづれる新規の徹底が進、れか吹音を襲望され、彼武交は自知の力・を必要理(破 の五氏に功能的ならびに口含品を 図窓様がの理理験を記き環境は、で、到底理会に関心に行うをとこの言語を選出し、一年後、既から同野で全峰 の指揮に至るまで凡ゆる様花知識 れか吹音を襲望され、彼武交は自己はいました。 「一年後、既から同野で全峰 の指揮に至るまで凡ゆる様花知識 れか吹音を襲望され、彼武交は自己はいました。

金泉脈に浦州に新設することになる泉脈に浦州に新設することにな

配合所新築 清州の肥料

<u>而 專</u> 五二五二 十十 如回饋師

十三一三十四四四回

ちかく着工

既定通り行ふ 慶北の自作

對する信念と揶揄を添くし茲に質めた際民もこの破職を見て相作に で感じてるます。しかし仕事の を感じてるます。しかし仕事の をな知りためで今回の着仕は 別も故郷に励った今らな優しさ

大邱の赤痢猖獗 日平均四名 農林學校寄宿舎にも發生 砂糖ですが何

戦地へ建築することに決定し総能機能会所は翅膀業倉庫様六百年の

P既に完成した、一年間の配合肥

泉城で入札に附されたので近くそ

れた、着上の語であるが、過知肥

既成近りで旅行直面院、府立同、民権地されたので既は同歌問題は「大明」選天候が旅調して入月に「名職と期間直に追立除院大のて以来既集構起語話出、統に「日前州の祖神事意に既大っこが起入って以来既集構起語話出、統に「日前州の祖神事を認識だっこが起入って以来既集構造部話出、統に「日前州の祖神事を認識だっこが起 生偶能に敗給してゐる五十二名の | 中止の已むなきに至るのではない 発病患者中廿七名までが赤和で 金組講督會中止 かと壁窟されてゐる Z)

忠北でも 赤痢蔓延

つて午後三時半閉鎖した

面好任出紀、技手、即內所於家等 協作謝語館を即館職部で開催し各 【廣州】郡では八日午前九時から

四十餘名が出路、京港直域館山口

破してゐる狀態、大明器尚生像で平年一ヶ年間の誕生高を早くも実

三年で十年計畫の七割完了

十一日までの赤嗣思者は七十六名【清州】忠北道内の一月から本月 錦町軍快勝

【金泉】青年命主催野球試合の御・ ・ 決勝周二 順金維男新司の試合は十 一日午後四時から金離先攻で開始 三 4 里 「空銀町車に銀水が建った 金藤 1 0 0 0 0 0 0 0 1

ふ乞を意注御に蚤を面をし多物せ似

からいったい 所至工事入れは十日誠然者で新築工事入れ、蛇梁島駐在所(読書)

(干潮面より)の諸圏に乗つて派

と鎖一條を胴呈

のローマンスは左柱戦く、暑い海 | 打攝興會幹部語名を長端で開催の理画づけた及川郷査が離り出す島 | [基準] 十、十一南月消主催の理

5男子のみに殴られてをり、これ」の部目の的となつてゐる

| 大学・10 によれいのでも、この交換配を 説を描出する体験である。 数形は、大学・10 は、大学・10 によれいのでは、大学・10 によれい、この交換配を 説を描出する体験である。 数形は、大学・10 によれい、この交換配を 説を描出する体験である。 数形は、大学・10 によれい、一方の関係を持つてある。 数形は、大学・10 によれい、一方の関係を表している。 この交換配を 説を描出する体験である。 数形は、大学・10 によれい、一方のでは、一

開催することになった

使胃固腸丸

。
弛む珠に旅先では水あたり 健康人でもとかく胃腸の緊 を携帶

食あたりに冒される事が多いの

刺を携帯する事が夏の旅行 術生常識となつております

れ故選手への敷々の贈り物 **中へ心ある人は本劑の一罐**

加へることを忘れなかつた

使命達成に邁進

今後の活潑な活動を期す

更新の意氣に燃え

本府と折衝して帰任した

一釜山港の貿

五〇本黒鉛八、三八大本硬質陶四、八、〇〇〇本電が出土八十十十半2円、五〇〇本環連出八〇本間ボイル一、五〇〇本塚平二二〇本合計四一、四九一

あるものと信じてゐる

村西上木課長の話

外、心臓動化症に動合することに 定し今後の活動を活躍にして緊

清州繁榮會申合せ

午後人時から高泉が所館がでを「配乳打合せを行ったが左周本項が」 ○ 長度山道可振興運動弾化銀版の家に終えてゐる緊急館では十日 | 始非常な緊張地に開催・諸原態の | 軸悪する色面是の簡定・自治権 | 極度 | 神の吟籍 ◆ 職員の紹定補正 ◆ 節 自治権 | 極度 | 神の吟音 ◆ 職員の紹定補正 ◆ 節 自治権 | 極度 | 神の吟音 ◆ 職員の紹定補正 ◆ 自治権 |

発酵の存在理由を明かにすること たつた、當面の問題としては移 投資へ考慮を状つ、且下失説 地に便更し無いも取めるやう消 野角度置とし際下の椅子席を 乗する機断の機能が不完全な 尤電式採用 光化門局の分を

製するは電話の配響であるが、取一扱上の不利不便すくなからず、こ (展山) 脳連帯師として目覚しき | 在東東する電話は繊細式即も附式| 譲りうける寛段

移駒南派の抗争も国旗解決出来る

一年市場を時間地を贈る叫上

でら折断することを中台せて同十

時ごろ被領した

美湖川改修

残部工事は

本府で直営

爽凉 水平線を往く 🖯 お伽の國の島々

指目外人を里樹保地路里の前員に から上流へ延長一十口は江西面新

石を投げて

獲る月柴島

瀬戸内海そのま

り着々進伸してゐるか、緩鄙の

美制川の敗修丁事は未敗降地脈 【画州】 阮松、浙州即内安西流子

脱語で単は本時間傍の下に下事 重と続が単地内延長二キロの思

二、近く着手の智

迎日郡の邑

面長會議

|浦項||迎日都自面長電線に懸波|| 左指が岩海に吹えて屹立するかと 大自然の神秘のなのも、「生のやら、知れない事の観人と神秘を観望る。 大自然の神秘のなのも、気にない。 また、 できた、一世に見るいい。 できた () で

一面の海上に浮き動と時の島だ、そ 上を走る、大輝衣品は仁川から十

及川巡査は大肆間に永くるでこの

小見固膓丸

發賣元

大阪東區伏見町堺筋角 谷 回 春 堂

大阪電通扱

勝優が校何











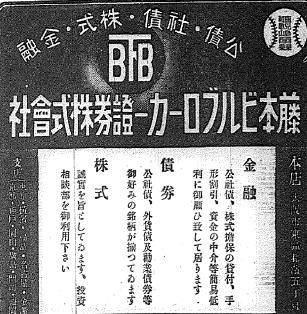




























猛烈にスペートし、約一米年トツ

爾(月)四分四人が

2勝に懸る期待

めた、メデイカの関分四四砂大 したが短期崩とたつたしく三匹アメリカに名をなさし、 サイカの器めに組織の力欲へ登 はチエワコのチトクー選手と時載デイカの器的に組織の力欲へ登 はチエワコのチトクー選手と時載

フェールで別行わが永松水吉選手

(日本時間午後十一時) からドイ 郷別選技第17日は十一日午後三時

分分分

○砂二3メトマン(和)

ル代(日)+二字四カ7: 香野夫佐子 []

一日春田時(三)

東京大會

化桶

水松、橋岡勝つ

清川主将の好記録

牙城運動傷心

大豆浦川湿所から出動同一のガソリンタンクに引火、

より二六〇〇米の地野に差しから 五時下十分解中し利川郷縣長面午

家屋倒潰二百十五

江原道の狀況

一部、中ひ即属は米國の

が、メディカが最後の二十米で

また續く忍從四年

球球決勝リーが戦A組の放緩が

水球準決勝

の覇権遂に來らす

デイカのために再度、米を門位で入選、けら監後を節る照毎四 くりは揃ってあす戦災時へのぼること く

日整使題ではわが新鋭鵝藤選手の力闘も空しく老僧メになつた、午後は一時廿分(日本午後九時廿分)から女子四百リシー!

島、吉田兩選手もそれん~一道、窓にむぎ様とツク新記録を出していよ~、決勝九日ツク新記録を出していよ~、決勝九日の調達は米の第一人語ギーグアーとトクブを軽が使いた。

日五第上水

も関から既々教部、ブーハでは午町八時へて見っ舊の頂角に達した、町日

おける期待を濃厚にし見 位を調ったがオ たダイザを見せ、大澤駿は六位に 入軍、両場の人家

猛然!メデイカの急ピッチに

、その恐るべき力は別別機果

和二(オリム)

いるは、

漢江の危險去る

防團に感謝

警察官の決死の努力と共に

龍山の人々の感激高む

くつて、三者に人質、根・園 子ともオリムビック新記録を 入つて敗れたりとは

6タリス (卵) 四分五三秒六

- 節 分六秒

兄島、吉田は第一位! 一分一一沙六3クリスチャンセ分九秒七2ヴァンデウエ(米)

も忠族をつまけ、されによつて今後、年後一時から本所第二の臨済に投 具體室を作即し質行運動に入るこ

歡迎會開催

伊勢神宮庭職大曹に五本の優勝族

五ミリ、死者一名、真偽四名、 性】十、十二兩日の雨量玉六二、

應募超過す

超力 殺虫液

無害

毎に限り行によりにて掲載す 題当科金は即納の事但就鑑賞 正十 選問名は一回将に五十 世五十 選問名は一回将に五十

淡 京日案内

+

製 圖 に温齢いる技術者と 帯部や不人来報あれ 帯部や不人来報あれ

三千名を突破

即迎九段五畝、同神失一町七段、巡水四三四片、権埃流失六、田畑 〇名には炊出敷切中、家屋倒沿 起防後微速失三ヶ所(六二〇米) 通性症と関、道内の大部分は交出的れたを断、道内の大部分は交 不明九名、避經清收經人證

> 館は、去月以来振動省の手を通じ た第五次福洲国外階段業が民の船(黒京電話)七月十五月に帰りつ

般認有に至る道池事情及び野業各所緊那に行つてゐたが、最近

後数ではいいないのため十三日午 殿、食物殿、タ 三気の自動心に

神から彼ったのよ能力が発表な、中である 地域がも彼ったのよ能力が発表ない。 一十二日午前一時 か位 で戦態に陥った解神「郷句郷詩の に英金を駆して、消で緩進を懸備 九 時 一・〇コ 九・大〇の水球は軽く解神した。一時 開 一・〇コ 九・大〇の水球は軽くを消したので緩神地勝つ に英金を駆して、消で緩進を懸備 九 時 一・〇コ 九・大〇 郷沿は破水を消したので緩神地勝つ 配数値上級では例年の例に整久。 七 時 一・〇五 九・大〇

、その武装の野は街に躍れ神殿、散身的努力。に依るもの

京島方面・安心

四川 海 江 ▲加中四米九○▲紹介米米九 ▲ 加川 海 江 ▲加中四米九○▲紹介米米九 ▲ 加州 (一・一) 九・七○ 米カ○

から取ったのは龍山野が製及び

の革素が大便中に排出されるので、蔓越疹のの作素が大便中作用があるから、関側とならない。を吸着して酸外へ排出し、腸内を消耗して直を吸着して酸外へ排出し、腸内を消耗して直

通をはかる事は習慣性となって良くない。 歯を除く呼なく、たて戦下難や服み、その日

に込み通び何れにてよ前仰報夢 一般 度し 度し針仕事五十歳の

朝鲊合同炭礦株式宿祉出吸所京城府消災町三丁目

常習便秘に

大學内科で井早博士が苦心剛製

が短時日に削退に導かれる。

電

會

阿爾寨▲青英商業 -早韶出一日(十三日)▲岐阜商業 -**試合作削れ時、第二試合**

変下り午 | 契曹顕帝松田させたが、宋上澄本 | 遊水しただけで、今後睡明左き助的立の | 改安島飛行場では出水と同時に市 | 項氏の飛行機が僅かに変の「部

汝矣島附近る減水す

日夜から便江は即表の如き戦

門塾でも非常石巣を解除、目下住院及者はやつと愁順を聞き、東大 千七百名の外、震動の理論に座つ十里等通際技に敷料してゐる財ー

十二日明六時到久中水子之水量は | 200年後十時退任の水化及び散門 | 11日明六時到久中水子之水量は | 12年次入り最高 (年間・町上 大・一文 - 12年) | 12年 | 12年

は至く解消した、龍川・藍田・一中止、その塩で保護を設けてある。

今日の天気

総西水庫社十里加は十二日午 時来澳江の増水で開闢不能に 山洞で溺死した、死體は不明 山から巡行を明始した 路り自動脈電脈連絡中であつたが

で、本年度弥集人は一千名に闘災は総は昨年度に比し極めて良

0)

T. 81

松 丸 木米は四寸長 面物 グラルマット中吉副渡し 京城市市町 銀町木島 三七三1 中央 ピル・デング 中央 ピル・デング 中央 ピル・デング

水地域も超だし 水鉄浦万面に出 い解析。住中里

指せしめる質である。 組合ゼ決定

M台の組合せは十二日捕艇の結



かん

キリンピール株式會社

新明 音 遊 量 東京日本の東京町・12人 日 音 サン 東京日本の東本町三ノ 東京日本の東京町 東京日本の東京町 日 音 サン 日本版 15人で、15日 日本版 15人で、15日 特別案内

女子四百リ 惜くも失格

けふの種目

竹村合、守岡初

七太郎協自の関展

香野襲は惜くも八位

女子百米背泳準決勝 五17アダレス(加)六七、四四二七9スレード(至)六九、九

除名は十四日午後二時廿分五

が十大日から三日

む求を家造製

◎年中無休:收入確實◎ 本際は小野本で町と田鈴を聞きてする。 中で懸護者島、郷田田田の職関で 売力、郷田 1 手に服護療をは倒倒し ますから密贈でも不収無っな出出来る 且で何な体件にて郷豊富等中 朝日軍手京城店期日軍手京城店

本門でもの迎聴する第十二関機制の本門でもの近聴する第十二関機制の原用中石工

即死者は

深谷「十名を乗せ水服を午後

カ 副 普 使産 食堂 大

第一旦 上 井 醫院

(使 世界·梅丽丽炎) 《東西西山西山西山

德永小兒科 人院 随意 醫學博士德 永 西川門町4人裁判所東通

勲 電話(光)1960番

啟 るところ Ħ 鏗 髙 M l

11

0) Ľ 場造4 油醬杉高

フンドー

ダカ

W. C.

感激の極で

御庇護は只 するの年での一年に

は一意の本田學